



NEC

「おかしいな?」と思ったときに、この一冊!
購入時の状態に戻すには、このマニュアルで再セットアップを!
日頃の注意でトラブル予防!

困ったときのQ&A



VALUE#STAR

トラブル解決 4つのポイント

1

● 落ちついて対処する

あわてて電源を切ったり、マウスを何度もクリックしたりせず、しばらくそのまま待ってください。しばらく待っても動かないときは、強制終了（p.29）を行ってください。

● メッセージが表示されているときは書き留める

必ず紙に書き留めてください。また、「元に戻す」「取り消し」などの機能が あったら、その機能を使ってください。



2

● 原因が何かを考える

操作を間違えなかったか、どんな操作をしたときに問題が起きたのかなど、原因を考えてみましょう。意外に単純な原因であることが多いです。

● 「スキャンディスク」を使ってみる

Windows 98やアプリケーションが起動しない、などのトラブルはハードディスクに原因があることが多いです。このようなときは「スキャンディスク」（p.8）を行ってください。



3

● このマニュアルを読む、または「サポートセンタ」の「困ったときのQ & A」の「トラブル解決 Q & A」で調べる

このマニュアルの目次を見て、自分のトラブルに当てはまる項目があったら、そのページを読んでください。また、このパソコンの電子マニュアル「サポートセンタ」を調べて解決のヒントがないか探してください。

📖 参照 「サポートセンタ」の使い方→この本のPART1の「サポートセンタを見る」（p.2）『はじめにお読みください』PART4の「電子マニュアルを見る」👉「サポートセンタ」-「サポートセンタについて」

● インターネットからトラブル対策を探す

Q & A 情報を提供しているホームページには、次のようなものがあります。

NEC パソコンインフォメーションセンター「PC サポート情報コーナー PICROBO」

<http://www.nec.co.jp/picrobo/>

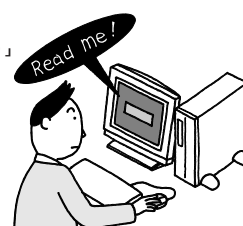
マイクロソフトサポート情報

<http://www.microsoft.com/japan/support/>

アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのマニュアルやヘルプなどを読んでから、開発元のホームページを見てみましょう。

● Windows ヘルプからトラブル対策を探す

このパソコンにある「Windows ヘルプ」を使えば、「目次」「キーワード」「関連するキーワード」から調べたい項目を探すことができます。



4

● 巻末の「トラブルチェックシート」に記入する

NECに問い合わせるときは、どんなトラブルが起こったかを巻末の「トラブルチェックシート」に記入しておいてください。その際、「サポートセンタ」の「パソコンの情報」もご覧ください。

● 問い合わせる

NECの問い合わせ先は『NEC PC あんしんサポートガイド』や「サポートセンタ」をご覧ください。パソコンとは別に購入した周辺機器やアプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。

解決！



はじめに

この本は、パソコンを使っていて、「おかしいな?！」とか「故障かもしれない」などと感じたときに、問題を解決するための手助けをします。パソコンのトラブルを予防するための説明もあります。

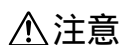
「困ったときのQ&A」はこの本と、「サポートセンタ」(このパソコンの電子マニュアル)の中の「困ったときのQ&A」で構成されています。まず、やりたいことや、あなたのパソコンで起きているトラブルを探し出してください。項目を種類別に分類して、見つけやすいようにしています。そして、問題の予防や原因、解決方法をよく読んで対処してください。

また、パソコンに内蔵されているソフトウェア(全部合わせて「パソコンのシステム」と呼びます)を回復するための方法も、この本で説明しています。困ったときには、この本を活用してください。

2000年5月 初版

このマニュアルの表記について

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています



注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。

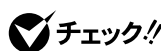


注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。



電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものをさがしてください。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。



参考になる事柄です。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています



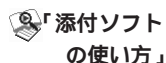
【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

プリンタ、コネクタなど

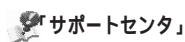
「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

CD-ROMドライブ

CD-ROMモデルでは、CD-ROMドライブのことを指します。
DVD-ROMモデルでは、DVD-ROMドライブのことを指します。
CD-R/RW with DVD-ROMモデルでは、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのことを指します。



「スタート」「サポートセンタ」「添付ソフトの使い方」を開き、各ソフトの使い方を参照することを示します。「添付ソフトの使い方」は、「ランチ-NX」から開くこともできます。



「サポートセンタ」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートセンタ」は画面右上の「サポートセンタ」をクリックして起動します。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

下記の表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル(機種)を指します。
CRTディスプレイ セットモデル	CRTディスプレイがセットになっているモデルのことです。
CD-R/RW With DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
ジャストホーム モデル	Justsystem Homeがあらかじめインストールされているモデルのことです。
一太郎モデル	Voice一太郎10・花子10パックがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2000モデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。

型名	型番	表記の区分			
		本体の形状	内蔵CD-R/RW ドライブ・ DVD-ROMドライブ・ CD-ROMドライブ	ディスプレイ	添付 アプリケーション
VE866J/37D	PC-VE866J37D	コンパクトタイプ	CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CRTディスプレイセットモデル (17型CRT)	Office 2000モデル
VE667J/37D	PC-VE667J37D		DVD-ROMモデル		
VE56H/35D	PC-VE56H35D			CRTディスプレイセットモデル (15型CRT)	一太郎モデル ジャストホームモデル
VE56H/35C	PC-VE56H35C				
VE53H/35B	PC-VE53H35B		CD-ROMモデル		

購入された製品の型名、型番の末尾に「9」が付加されている場合は、末尾の「9」を除いて、モデル名を確認してください。

本文中の画面

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また実際の画面とは異なることがあります。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Personal Operating System
ジャストホーム	Justsystem Home(一太郎Home、カaramel、楽々はがき、フォトシアター、デジコレ、キーボードファイター、写真スタジオ、文字スタジオ)
一太郎	一太郎Homeまたは、Voice一太郎10
一太郎10・花子10パック、 Voice一太郎10・花子10パック	Voice一太郎10・花子10パック(Voice一太郎10、花子10、三四郎9、ATOK13、VoiceATOK3、Shuriken2.1V、Sasuke2.0)
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basic)
MS-IME 98	Microsoft® IME 98
MS-IME 2000	Microsoft® IME 2000
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 5.01

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows 2000、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」「Voice一太郎10・花子10パック」「VoiceATOK」「Sasuke」「Shuriken」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「Voice一太郎10・花子10パック」「Justsystem Home」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Voice一太郎10・花子10パック」「Justsystem Home」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

「Justsystem Home」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎Home」「カラメル」「楽々のはがき」「フォトシアター」「デジコレ」「キーボードファイター」「写真スタジオ」「文字スタジオ」は、株式会社ジャストシステムの商標です。

「Justsystem Home」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Justsystem Home」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその国における登録商標です。

BIGLOBE、BIGLOBEかんたん設定ナビ、BIGLOBE電話で入会サービス、BIGLOBE電話で入会ナビ、PCポータルは、日本電気株式会社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■ 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品は日本国外で利用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。

本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

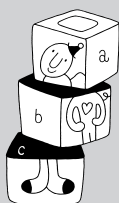
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

「困ったときのQ&A」は電子マニュアルの「サポートセンタ」にもあります。このマニュアルに載っていない情報もたくさん載っていますのでご覧ください。
サポートセンタについては(p.2)を参照してください。

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii

PART

1



トラブル解決への第一歩 1

サポートセンタを見る 2

トラブルを予防するには 3

データのバックアップと復元	3
定期的にハードディスクを点検する	4
コンピュータウイルスの侵入を防ぐ	4
保守サービス(有料)で定期的にメンテナンスを行う	5
アプリケーションの動作に必要な環境を確保する	5

トラブルを解決するには 7

パソコンを再起動する	7
スキャンディスクを使う	8
コントロールパネルの開き方	10
デバイスマネージャを表示する	10
Safe モードで Windows を起動する	12
システムファイルチェッカーを使う	13
インターネットで解決方法を探す	14

PART

2



トラブル解決 Q & A 15

パソコンが動かない 16

急に動かなくなった	16
パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる	16
周辺機器を取り付けて電源を入れたら、パソコンが起動しない	18
パソコンの電源が切れない	18
Safeモードで起動したい	18

パソコンがこわれそう 19

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、 手でさわれないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた ...	19
パソコンを使っているとカリカリと変な音がする	19

はじめて電源を入れたら 20

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった	20
ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)	20

キーボードを接続したがうまく動作しない	20
電源を入れたが/切ろうとしたが	21
ディスプレイに何も表示されない	21
電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる	23
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示され、 「Enter a choice:」に「3 (3.Safe mode)」が表示された	24
「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスク ドライブにエラーがある 可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった	24
「Invalid system disk」と表示される	25
「Please Insert Another Disk.....」と表示される	25
「Operating System not found」と表示される	26
「Non-system disk or disk error」と表示される	27
カーソルが表示されたきり、なにも表示されない	27
電源を入れてすぐにフロッピーディスクをセットしたが、 しばらくするとハードディスクからWindows 98が起動した	27
電源を入るとピーッと音がする	28
このマニュアルや「サポートセンタ」にないエラーメッセージが表示された	28
スキャンディスクの画面が表示された	28
周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった	28
パソコンの使用環境を変更したら、Windows 98が起動しない	29
電源が切れない。強制的に電源を切りたい	29
電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった	31
マウス、キーボード	32
マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった	32
マウスを動かしても、何も反応しない	32
キーボードのキーを押しても、何も反応しない	33
キーボードのUSBコネクタに接続した機器が動作しない	34
CD/DVDプレーヤボタン、ワンタッチスタートボタン、スリープボタンが 機能しない	34
アプリケーション	35
アプリケーションが起動しなくなった	35
パソコンに添付のアプリケーションを追加または削除したい	36
アプリケーションが突然止まった(フリーズした)	37
アプリケーションについて問い合わせをしたい	37
「リソースが足りない」という意味のメッセージが表示されて、 アプリケーションが正常に動作しない	37
周辺機器	38
別売の周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった	38
別売の周辺機器を取り付けたが、正しく動作しない	39

省電力機能	40
スタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない	40
自動的にスタンバイ状態になってしまう	41
自動的にスタンバイ状態にならない	41
スタンバイ状態にならない。「コントロールパネル」の「電源の管理」で 設定してもスタンバイ状態にならない	42
スタンバイ状態にしようとしたら「デバイスドライバがプログラムが原因 で待機モードに入れません。すべてのプログラムを終了してからもう一度 やり直してください。」と表示された。またはスタンバイ状態にできない	42
スタンバイ状態にできない。または、省電力を設定しても自動スリープ機能が 利用できない	43
休止状態にできない	43
パスワード	44
パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と 表示される	44
パスワードを忘れてしまった	44
MS-DOSモード/MS-DOSプロンプト	45
MS-DOSモードを終了して、Windows 98に戻りたい	45
MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった。元に戻したい	45
MS-DOSプロンプト画面でWindows 98のスクリーンセーバーが起動した	45
コンピュータウイルスが発見されたら	46
コンピュータウイルスが検出された	46
その他	47
添付品に足りないものがあつた	47
添付品の接続のしかたがわからない	47
BIOSセットアップメニューの設定値を、購入時の状態に戻せない	47
このパソコンを廃棄したい	47
やりたいことが、どのマニュアルに載っているかわからない	48
CD-ROMなどのディスクが取り出せない	48
「サポートセンタ」が表示されない。起動しない	49
日付と時刻を設定したい	50
このパソコンで使えるOSの種類を知りたい	50
Windows 2000を利用したい	51

PART

3



再セットアップ 53

再セットアップが必要なのは 54

再セットアップが必要なのはこんなときです 54

再セットアップに関する注意 55

標準再セットアップとカスタム再セットアップ 55

購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ) 57

全領域を1パーティションにして再セットアップする (カスタム再セットアップ) 73

Cドライブのみ再セットアップする(カスタム再セットアップ) 76

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする (カスタム再セットアップ) 80

付 録 95

添付品の修復、再入手、交換、補修用性能部品 96

消耗品 96

消耗部品 96

補修用性能部品の最低保有期間 96

譲渡、廃棄、改造について 97

この製品を譲渡するには 97

この製品を廃棄するには 98

このパソコンの改造 98

索 引 99

トラブルチェックシート 101

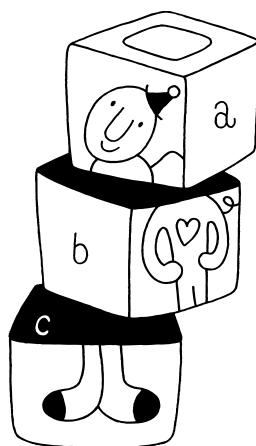


P A R T

1

トラブル解決への第一歩

パソコンは、いつ、どんなときにトラブルが起こるかわかりません。万が一のトラブルのときのために、予防と対策が大切です。ここではトラブル解決のコツや、便利なツールについて説明しています。



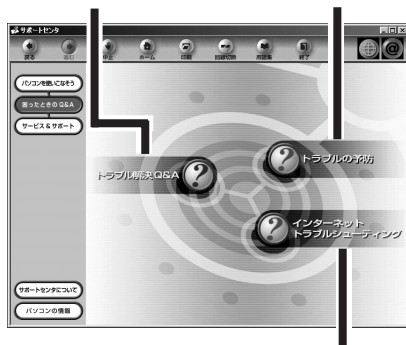
サポートセンタを見る

「サポートセンタ」にはこの本にはない項目がたくさんあります。探している項目がこの本で見つからなかった場合は、「サポートセンタ」をご覧ください。

アクティブメニューNX(画面右上)の**サポートセンタ**をクリックし、「サポートセンタ」が起動したら「困ったときのQ&A」をクリックしてください。次の画面が表示されます。

さまざまなトラブルの解決方法を説明しています。

トラブルを予防するアプリケーションの説明です。ここから起動することもできます。

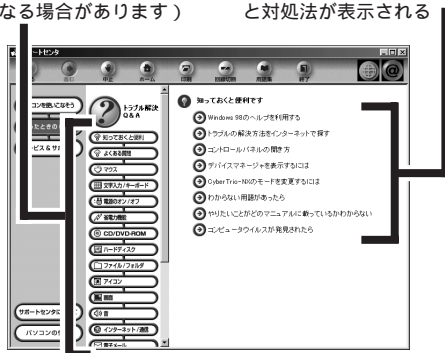


インターネットについてよくあるトラブルの解決方法を説明しています。

●「トラブル解決Q&A」の使い方

「トラブル解決Q&A」をクリックすると、次のような画面が表示されます。

トラブルの種類をクリック(モデルによっては、画面と異なる場合があります) 表示されたトラブル例をクリックすると対処法が表示される



上の画面で、トラブルの種類の項目を下のほうにスクロールしていくと、**解決のしかた**があります。ここをクリックすると、トラブルが起こったときの対処のしかた、手順について確認できます。

また、項目のいちばん下にある**追加情報**をクリックすると、より詳細なQ&A情報や最新情報をご覧になれます。

「サポートセンタ」には次の項目があります。

- 困ったときのQ&A
 - トラブルの予防
 - トラブル解決Q&A
 - 知っておくと便利
 - よくある質問
 - マウス
 - 文字入力/キーボード
 - 電源のオン/オフ
 - 省電力機能
 - CD/DVD-ROM
 - ハードディスク
 - ファイル/フォルダ
 - アイコン
 - 画面
 - 音
 - インターネット/通信
 - 電子メール
 - FAX
 - アプリケーション
 - 周辺機器
 - 印刷
 - その他
 - 解決のしかた
 - 追加情報
 - インターネットトラブルシューティング

トラブルの種類(左側)をクリックすると、トラブル例が一覧表示されます(右側)。該当するトラブル例をクリックすると、その解決法が表示されます。

トラブルを予防するには

重大なトラブルに陥らないためには、日ごろからのメンテナンスやデータの管理が必要です。

ここでは、トラブルが起こらないようにするための操作について説明します。

データのバックアップと復元

バックアップとは

ハードディスクに保存されているデータは、絶対安全なものではありません。パソコンにトラブルがあった場合、Windows 98 そのものやアプリケーションなどはバックアップCD-ROM などを使って復元できますが、自分で作成したデータはバックアップを取っておかないと復元できません。万が一の事態に備えて、定期的にバックアップを取っておくことをおすすめします。

バックアップ先を決める

バックアップ先	メリット	デメリット
内蔵ハードディスクのDドライブ	- 記録スピードが速い - 追加の機器が必要ない - 容量が非常に大きい(数G/バイト程度)	ハードディスク自体が故障した場合には、データが失われる
外付けハードディスク	- 記録スピードが速い - 容量が非常に大きい(数G/バイト程度) - 内蔵ハードディスクが故障しても影響がない	別売の外付けハードディスクが必要。
フロッピーディスク	- 持ち運びが可能 - 他の媒体に比べて安い - 内蔵ハードディスクが故障しても影響がない	- 容量が小さい(約1.4M/バイト) - 記録スピードが遅い - 別売のフロッピーディスクが必要。
CD-RやCD-R/RW	- 持ち運びが可能 - 記録スピードが比較的速い - 容量が大きい(数百M/バイト程度) - 内蔵ハードディスクが故障しても影響がない	- 別売のCD-RやCD-RWが必要。 - お使いの機種によっては、CD-RやCD-RWを使えるドライブが必要。

アプリケーションデータのバックアップと復元

●「バックアップ-NX」でバックアップ

「バックアップ-NX」は、アプリケーションで作成したデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。「バックアップ-NX」の使い方は「サポートセンタ」をご覧ください。

参照

「バックアップ-NX」の使い方
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル予防」-「予防のためのツール」-「バックアップ-NX」

メモ

Windows 98の検索機能を利用して、もデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。

インターネット接続の設定をバックアップ

インターネットの設定は、バックアップすることができます。

- BIGLOBE に入会しているとき

「BIGLOBEかんたん設定ナビ」を使うと、インターネットの設定をバックアップすることができます。「BIGLOBE かんたん設定ナビ」の使い方は「サポートセンタ」をご覧ください。

- BIGLOBE 以外に入会しているとき

「インターネット接続のバックアップ」を使うと、インターネットの設定をバックアップすることができます。「インターネット接続のバックアップ」の使い方は「サポートセンタ」をご覧ください。



「BIGLOBE かんたん設定ナビ」の使い方 → 「添付ソフトの使い方」- 「BIGLOBE かんたん設定ナビ」



「インターネット接続のバックアップ」の使い方 → 「サポートセンタ」- 「困ったときの Q&A」- 「トラブル予防」- 「予防のためのツール」- 「インターネット接続のバックアップ」

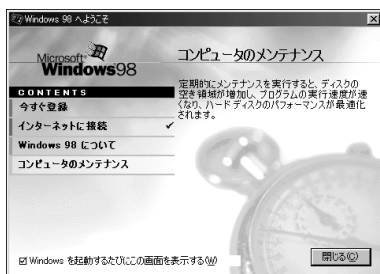
定期的にハードディスクを点検する

ハードディスクはとても精密なものです。大きなトラブルがない場合でも、定期的に検査や整備をするように心がけてください。

トラブルを予防するために毎日 1 回または、週に 1 回程度、定期的に「スキャンディスク」でハードディスクをチェックすることをおすすめします。また、メンテナンスウィザードを利用すると、スキャンディスクなどのシステムツールが定期的に行うことができるように設定できます。

メンテナンスウィザードを起動する

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」- 「アクセサリ」- 「システムツール」- 「Windows へようこそ」をクリックします。



「Windows 98 へようこそ」ウィンドウが表示されます。

- 2 「コンピュータのメンテナンス」をクリックします。「メンテナンスウィザード」が起動します。

コンピュータウイルスの侵入を防ぐ

コンピュータウイルスは、気付かぬうちにパソコンに侵入し、プログラムやデータを破壊したり、異常なメッセージを表示させたりするものです。ウイルスの感染を防ぐため、こまめにチェックするようにしてください。



コンピュータウイルスについて → PART2 の「コンピュータウイルスが発見されたら」(p.46)

保守サービス(有料)で定期的にメンテナンスを行う

このパソコンを、業務用などに24時間連続で利用したり、信頼性を必要とする設備として利用する場合は、必ず保守契約を行い、定期的にメンテナンスを実施することをおすすめします。ハードディスクなどの消耗部品の交換も依頼出来ます。NECフィールディングでは、さまざまな保守サービス(有料)を用意しています。ご利用環境に合わせて、保守契約を結んでください。

参考

- ・消耗部品について→付録の「添付品の修理、再入手、交換、補修用性能部品」(p.96)
- ・保守サービス(有料)について→『NEC PC あんしんサポートガイド』

アプリケーションの動作に必要な環境を確保する

アプリケーションを使うには、リソース(動作に必要な作業領域)が必要です。複数のアプリケーションを同時に起動すると、リソースが少なくなり、アプリケーションの動きが遅くなったり、パソコンが動かなくなってしまうことがあります。このような現象を防ぐためには、使わないアプリケーションをこまめに終了するようにしましょう。

また、ファイルサイズの大きな壁紙を使用している場合にもパソコンの動きが遅くなることがあります。この場合は、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。

用語

リソース

パソコンのメモリやハードディスクなど、パソコンを使うときに必要な装置全般。装置の性能や容量は限られているため、効率よく利用しなければならないことから「資源」ともいわれる。

リソースを確認する

- 1 「マイコンピュータ」を右クリックします。
- 2 「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「パフォーマンス」タブをクリックします。
「システムリソース」に現在のリソースが表示されます。

起動中のアプリケーション / 常駐プログラムを終了させる

起動中のアプリケーションを終了させる

このパソコンに添付のアプリケーションの終了方法については、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」をご覧ください。その他のアプリケーションについては、各アプリケーションの終了方法にしたがって終了させてください。

終了したいアプリケーションが選択できないとき
作業中に「リソースが足りません」というようなメッセージが表示された場合で、終了したいアプリケーションが選択できないようなときには、次の手順でアプリケーションを終了させてください。

- 1 【Alt】を押したまま【Tab】を押します。
ウィンドウが表示されます。

- 2 【Alt】を押したまま【Tab】を押してアプリケーションを選択し、
【Alt】をはなします。
- 3 タスクバーに表示されているアプリケーション名を右クリックし
ます。
メニューが表示されます。
- 4 「閉じる」をクリックします。
これでアプリケーションを終了させることができます。
作成中のデータなどがある場合は、保存の確認をするメッセージ
が表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。

常駐プログラムを終了させる

アプリケーションの中には、パソコンを起動するたびに、自動的に起動するように設定されているものがあります。(これをアプリケーションの常駐といいます)。画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)に表示されているアプリケーションのうち、使っていない常駐アプリケーションのアイコンを右クリックし、アプリケーションを終了させる項目(アプリケーションによって異なりますが、「終了」「終了する」などが一般的です)をクリックしてアプリケーションを終了させてください。

●上記の操作を行っても改善されないとき

上記の操作を行ってもアプリケーションの動きが遅いままのときや、パソコンが動かなくなってしまう場合には、次のように操作してください。

アプリケーション終了後、Windowsを再起動する

アプリケーションの中には、終了させてもリソースを解放しないものがあります。アプリケーションを終了させてもリソースが解放されない場合は、Windowsを再起動してください。(→ p.7)

インジケータ領域(タスクトレイ)の常駐アプリケーションを非常駐にする常駐の必要がないアプリケーションは、次の手順で常駐の設定を解除します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「スタートアップ」をクリックし、常駐を解除したいアプリケーションを右クリックします。
- 2 「解除」をクリックします。
メッセージが表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。
- 4 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックします。
- 5 「再起動する」をにし、「OK」ボタンをクリックします。
パソコンが自動的に再起動し、アプリケーションの常駐が解除されます。

トラブルを 解決するには

ここでは、実際にトラブルが起こったときに役立つ機能や操作、解決方法の見つけ方について説明します。

パソコンを再起動する

再起動とは、一度 Windows を終了して、Windows を起動し直すことです。

パソコンにトラブルが起こったとき、再起動するだけでトラブルを解決できることがあります。また、設定を変更したときは、再起動が必要な場合があります。

パソコンを再起動する

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
- 2 「再起動する」を  にして「OK」ボタンをクリックします。
パソコンが再起動します。

●「再起動しますか？」と表示された場合

「はい」ボタン(または「OK」ボタン)をクリックします。Windows が自動的に再起動します。

スキャンディスクを使う

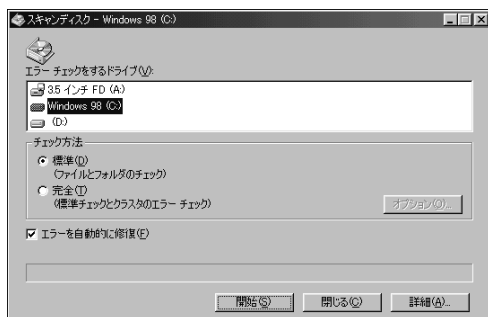
スキャンディスクは、Windows 98 やアプリケーションの動作不良や強制終了によるデータの書き損じなどのトラブルを検査、修復します。また、パソコンが異常終了した直後の再起動時には、自動的にスキャンディスクが実行されハードディスクを修復します。

Windows 98 が起動するとき

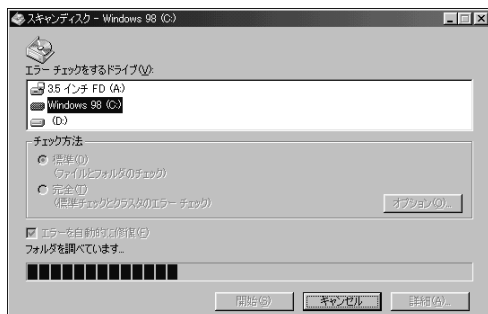
Windows 98 が起動するとき、次の手順で Windows 98 のスキャンディスクを実行してください。

スキャンディスクを実行する前に、起動中のアプリケーションや常駐しているソフトウェアなどを終了させてください。また、スキャンディスクが終了するまで、一切の操作を行わないでください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「スキャンディスク」の順にクリックします。「スキャンディスク」ウィンドウが表示されます。



- 2 「エラーチェックするドライブ」から、チェックしたいドライブをクリックします。
- 3 「チェック方法」の「標準」の をクリックして (オン) にします。
- 4 「エラーを自動的に修復」の をクリックして、 (オン) にします。
- 5 「開始」をクリックします。
ハードディスクのチェックがはじまります。



参照

スキャンディスクについて → 「サポートセンタ」 「困ったときのQ&A」 「トラブルの予防」 「予防のためのツール」 「スキャンディスク」

チェック!!

ハードディスクにトラブルが起きたときは、「スキャンディスク」が自動的に起動することがあります。

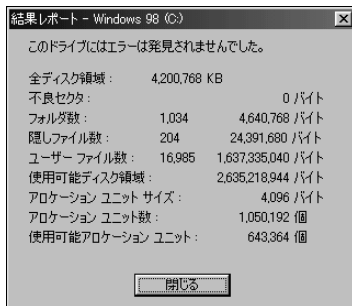
チェック!!

トラブルを予防するために定期的に「スキャンディスク」でハードディスクをチェックすることをおすすめします。また、メンテナンスウィザードを利用すると、スキャンディスクなどのシステムツールが定期的に行えるよう設定できます。

参照

メンテナンスウィザードについて → このPARTの「定期的にハードディスクを点検する」(p.4)

ハードディスクのチェックが終わると、「結果レポート」が表示されます。



- 6 「結果レポート」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。
「スキャンディスク」ウィンドウに戻ります。
- 7 「スキャンディスク」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。

「結果レポート」で重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたら
この場合は、手順3で「チェック方法」の「完全」をクリックして、 (オン)にし、もう一度スキャンディスクを実行してください。完全
チェックには標準チェックより時間がかかることがあります。

Windows 98 が起動しないとき

Windows 98 が起動しないときは、次の手順でスキャンディスクを実行してください。

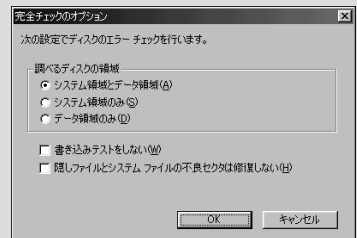
- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 NEC ロゴが表示されたら、「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されるまで【F8】キーを何回か押します。
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。
- 3 【↓】キー、【↑】キーを使って「5.Command prompt only」を選び、
【Enter】キーを押します。
- 4 キーボードで次の順にキーを押します。
【S】【C】【A】【N】【D】【I】【S】【K】【Enter】
ハードディスクのチェックがはじまります。エラーが発見されたときには、メッセージが表示されますので、修復を実行してください。破損したファイルの修復のために「ファイルに変換する」などを選びます。
チェックが進むと「クラスタスキャンを実行しますか？」というメッセージが表示されます。
- 5 【←】キー、【→】キーを使って「いいえ」を選び、【Enter】キーを押します。
- 6 【X】キーを押します。
スキャンディスクの操作はこれで終わりです。電源スイッチを押して、電源を切り、5秒以上待ってからもう一度、電源スイッチを押して、電源を入れます。

✓チェック!!

左の画面は「結果レポート」の例です。

メモ

「チェック方法」の「完全」をクリックして、 (オン)にし「オプション」ボタンをクリックすると、さらに詳細な設定を行うことができます。



✓チェック!!

スキャンディスクを行っても Win-
dows 98 が起動しないときや、重大
な問題が発見されたというメッセー
ジが表示されたときは、再セット
アップなどの対応が必要です。

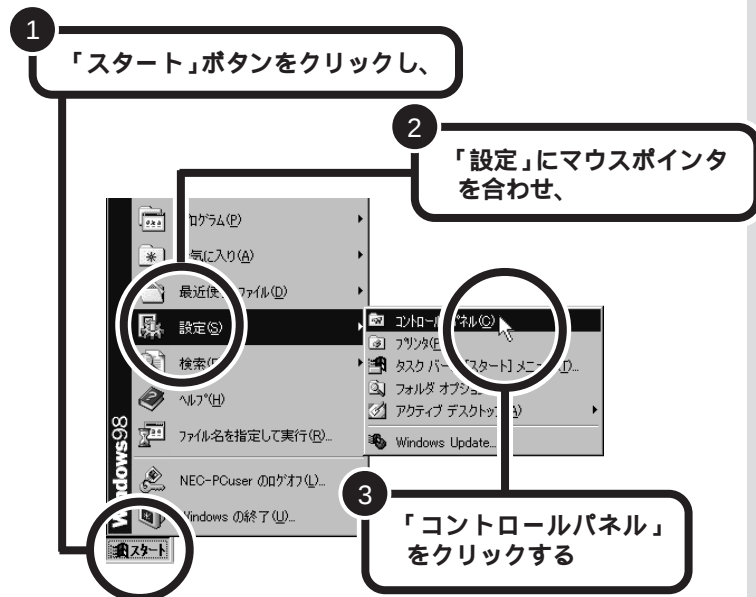
参考

再セットアップ→「PART3 再セッ
トアップ」(p.53)

コントロールパネルの開き方

トラブルの解決のために、コントロールパネルを使うことが多いので、ここで、コントロールパネルの開き方を説明します。

コントロールパネルは、次のようにして開きます。



次の方法で開くこともできます。

- 1 デスクトップ左上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「コントロールパネル」をダブルクリックします。

デバイスマネージャを表示する

パソコンの環境を確認したり、周辺機器の設定を変更したいときに見るのがデバイスマネージャの画面です。パソコンの調子がおかしいときに見ると、トラブルの解決に役立つ情報がわかることがあるので、ここでデバイスマネージャの開き方を説明します。

現在のモードを確認する

デバイスマネージャの画面は、このパソコンの状態を Cyber Trio-NX で「アドバンスモード」に変更すると表示できます。

「ベーシックモード」でお使いになっているときは、次の「アドバンスモードに切り替える」にしたがって「アドバンスモード」にしてください。ご購入時の状態では、「ベーシックモード」になっています。

インジケータ領域(タスクトレイ)に表示されているアイコンで現在のモードを見分けることができます。

チェック!

コントロールパネルのアイコンの中には、このパソコンの状態が Cyber Trio-NX で「ベーシックモード」になっていると開けないものがあります(ご購入時は「ベーシックモード」になっています)。これらのアイコンを開いて設定を変更したいときは、「アドバンスモード」にしてください(p.11)。

コントロールパネル

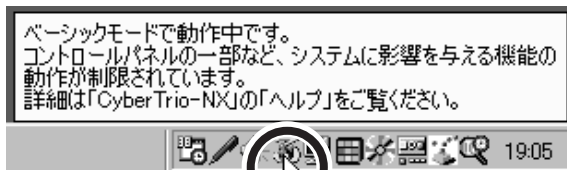


(画面は実際の画面と異なることがあります)

参照

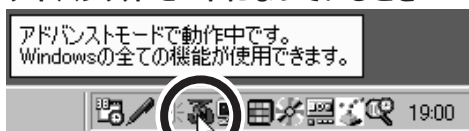
Cyber Trio-NX - 「添付ソフトの使い方」 Cyber Trio-NX

ベーシックモードになっているとき



アイコンの色が黄色になっています。マウスポインタを合わせると「ベーシックモードで動作中…」と表示されます。

アドバンスモードになっているとき



アイコンの色が赤色になっています。マウスポインタを合わせると「アドバンスモードで動作中…」と表示されます。

アドバンスモードに切り替える

ベーシックモードから、アドバンスモードにするときは、次のように操作します。

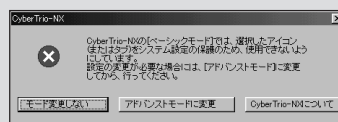
- 1 「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「プログラム」、「CyberTrio-NX」の順にマウスポインタを合わせます。
- 3 「Go to アドバンスモード」をクリックします。
しばらくするとアドバンスモードに切り替わります。

デバイスマネージャの画面を表示する

- 1 「コントロールパネル」を開きます。(p.10)
- 2 「システム」をダブルクリックします。

✓チェック!

「ベーシックモード」の状態では「コントロールパネル」の「システム」を起動しようとすると、次の画面が表示されます。

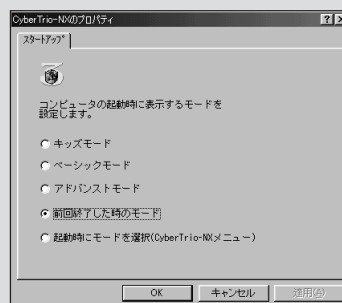


この場合は「アドバンスモードに変更」ボタンをクリックしてください。しばらくするとアドバンスモードに切り替わります。
「システム」を起動しない場合は「モード変更しない」ボタンをクリックしてください。

✓チェック!

CyberTrio-NXでは、次に起動するときにどのモードにするかを選ぶことができます。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「CyberTrio-NX」、「CyberTrio-NXセットアップ」の順にクリックします。
次の画面が表示されます。



選みたいモードの をクリックして (オン) にし、「OK」ボタンをクリックします。

- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
デバイスマネージャの画面が表示されます。



✓チェック!!

デバイスマネージャでの設定が完了したあとは、「ベーシックモード」に戻して、お使いいただくことをおすすめします。

Safe モードで Windows を起動する

Safe モードはトラブルが発生したときに、最小限のシステム環境で起動できる Windows の起動モードのひとつです。Safe モードでいったんパソコンを起動し、スキャンディスクなどのシステムツールでトラブルを解決してパソコンを再起動すると、正常な Windows 98 に戻れることがあります。

- 1 パソコンの電源を入れて、Windows 98 を起動します。
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、【F5】キーを何回か押します。
- 3 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角 / 全角】キーを押します。
「Windows 98はSafeモードで実行されています。」と表示されます。



- 4 「OK」ボタンをクリックします。
これで、パソコンは Safe モードで起動しました。

トラブルを解決したいときは、さらに、次の手順でスキャンディスクを実行します。

Safe モードでのスキャンディスクの実行

- 1 「スキャンディスクを使う」の「Windows 98が起動するとき」(p.8)にしたがって、スキャンディスクを実行してください。

✓チェック!!

- ・Safe モードでは、最小限の機能しか使えません。CD-ROM ドライブやプリンタなどは使えません。
- ・手順 3 の「Windows 98 は Safe モードで実行されています。」が表示されずに、Windows 98 が起動した場合は、Windows 98 を終了して手順 1 から行ってください。

📖 参照

CyberTrio-NX の「ベーシックモード」の状態で、Safe モードを起動すると、デバイスマネージャによるハードウェアの設定変更ができなくなります。

📖 参照

設定変更ができるようにするには—
「添付ソフトの使い方」-「CyberTrio-NX」-「ベーシックモード」-「ベーシックモードでの注意」

✓チェック!!

Safe モードで起動した後、「スタート」メニューから「Windows の終了」-「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックし、再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。

- 2 スキャンディスクが終了したら、「スタート」ボタンから「Windowsの終了」をクリックし「再起動する」を  (オン) にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。
パソコンが起動します。

✓チェック!!

スキャンディスクを行ってもパソコンが起動しなかったり、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップ (p.53) を行ってください。

システムファイルチェッカーを使う

Windows 98 の動作が不安定になったときは、システムファイルにトラブルが起きていることが考えられます。システムファイルチェッカーはシステムファイルの問題を調べ、異常のあるファイルを修復することができます。

システムファイルチェッカーを実行するには

- 1 起動中のアプリケーションをすべて終了します。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の順にクリックし、「システム情報」をクリックします。
「Microsoft システム情報」ウィンドウが表示されます。
- 3 メニューバーの「ツール」から「システムファイルチェッカー」をクリックします。
「システムファイルチェッカー」ウィンドウが表示されます。

以降は画面にしたがって設定します。

- **ご購入直後の状態であっても、システムファイルチェッカーを実行すると「USER.EXEファイルが壊れている可能性があります。」の旨のメッセージが表示されることがありますが、実際には壊れていません。この場合、次の操作をしてください。**
- 1 「ファイルを復元する」を選んで「OK」ボタンをクリックします。
「ファイルの復元ウィンドウ」が表示されます。
 - 2 「復元先」に「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力します。
 - 3 「ファイルの保存先」が「C:¥WINDOWS¥SYSTEM」になっていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。
「バックアップ ファイル」ウィンドウが表示されます。
 - 4 バックアップファイルを作る場合は、ファイルの保存先を指定して「OK」ボタンをクリックします。バックアップファイルを作らない場合は、「スキップ」ボタンをクリックします。
「システム ファイルのスキャンが終了しました」と表示されます。
 - 5 「OK」ボタンをクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されます。
 - 6 「はい」をクリックします。
Windows 98 が再起動します。

メモ

システムファイルとは、「dll」, 「com」, 「vxd」, 「exe」, 「drv」, 「ocx」, 「inf」などの拡張子がついたファイルのことです。

インターネットで解決方法を探す

インターネットでトラブルの解決方法を探すのも有効な方法です。ここでは、Q&A 情報を提供している主なホームページを紹介します。

■ NEC パソコンインフォメーションセンター 「PC サポート情報コーナー PICROBO」

NECパソコンインフォメーションセンターでは、NECのパソコンや周辺機器、Windows 製品を含むソフトウェアについて、電話によるサポートを行っています。ホームページのサポート情報には、Q&A検索、商品別サポート情報、ビギナー向けQ&A集、よくあるお問い合わせなどが用意されています。また、サポート情報のほかには、商品情報やダウンロードサービスなどもあります。

「スタート」ボタンをクリックし、「お気に入り」の「NEC」の「PCサポート情報コーナー (PICROBO)」の順にクリックします。

ホームページアドレス(URL)
<http://www.nec.co.jp/picrobo/>

■ マイクロソフトサポート技術情報

このホームページでは、Microsoft 製品のQ&Aや、最新情報を見ることができます。

Internet Explorerの「ヘルプ」をクリックし、「オンラインサポート」をクリックします。

ホームページアドレス(URL)
<http://www.microsoft.com/japan/support/>

参照

NECパソコンインフォメーションセンターについて→『NEC PC あんしんサポートガイド』

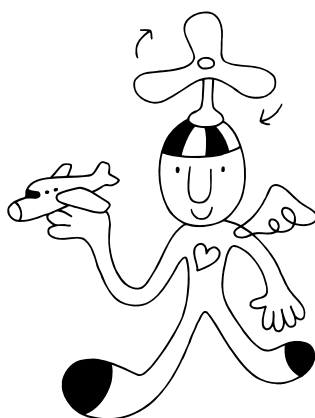
P A R T

2

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてなにかトラブルが起きたときは、ここを読んであてはまる項目をさがしてください。

何か疑問があるときも、ここを読んでください。



パソコンが動かない

いきなり電源プラグや電源ケーブルを抜かないで、落ち着いて対処してください。

急に動かなくなった

Windowsやアプリケーションに何らかの異常が起きていることが考えられます。「電源を入れたが/切ろうとしたが」の「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」にある「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.30)以降をご覧ください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源スイッチを押すと、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、次の手順にしたがってください。

Safeモードで起動する

パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押して、いったん電源を切ってから、「SafeモードでWindowsを起動する」(p.12)をご覧ください。SafeモードでWindows 98を起動してください。

SafeモードでWindows 98が起動しない場合は、次の「Microsoft Windows 98 Startup Menu」で起動するに進んでください。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」で起動する

- 1 電源ランプがついているときは、パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押して、いったん電源を切ります。
- 2 5秒以上たってから、パソコン本体の電源を入れます。
- 3 NECロゴが表示されたら、「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されるまで【F8】キーを何回か押します。
- 4 【↑】キー、【↓】キーを使って「5.Command prompt only」を選び、【Enter】キーを押します。
- 5 キーボードで次のように入力します。
【S】【C】【A】【N】【D】【I】【S】【K】【Enter】
スキャンディスクが実行され、ハードディスクのチェックがはじまります。

メモ

画面が突然まっくらになったときには、パソコンがスタンバイ状態になったか、ディスプレイの省電力機能が働いたことが考えられます。このときは、マウスを動かすか、キーボードの【スリープ】ボタン、キーボードのキーのいずれかを押してください。

✓チェック!!

- ・ ひんぱんに強制終了を行うとハードディスクが故障することがあります。
- ・ 強制終了を行うと直後の再起動時にスキャンディスクが自動的に起動します。

✓チェック!!

フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていたら、取り出して、電源スイッチを押してください。

✓チェック!!

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されない場合は、次の「Windows 98起動ディスク」から起動するに進んでください。

エラーが発見されたときは、メッセージが表示されますので、修復を実行してください。破損したファイルの修復のために「ファイルを変換する」などを選びます。チェックが進むと「クラスタスキャンを実行しますか?」というメッセージが表示されます。

6【←】キー、【→】キーを使って「いいえ」を選び、【Enter】キーを押します。

7【X】キーを押します。

パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押して電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度電源スイッチを押して電源を入れます。

電源を入れてもWindowsが起動しない場合は、次の手順を行ってください。

「Windows 98 起動ディスク」から起動する

1 パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押して、いったん電源を切ります。

2 電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows 起動ディスク1」をセットします。

フロッピーディスクドライブからパソコンが起動します。「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

3 「Start computer with CD-ROM support.」が選択されていることを確認して、【Enter】キーを押します。しばらくすると、「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

4 【半角/全角】キーを押します。

「106キーボードが選択されました」と表示されます。しばらくすると、「Windows 98 起動ディスク 2を挿入してください。続けるにはどれかキーを押してください」と表示されます。

5 フロッピーディスクドライブから、「Windows 98 起動ディスク 1」を取り出し、「Windows 98 起動ディスク 2」をセットして、何かキー(【Enter】キーなど)を押します。しばらくするとコマンドプロンプト(「A:¥>_」)が表示されます。

これで、Windows 98起動ディスクからのパソコンの起動が完了しました。

再びハードディスクから起動したい場合は、フロッピーディスクドライブからWindows 98起動ディスクを取り出して、電源を入れ直してください。さらに、スキャンディスクでハードディスクのトラブルを解決したいときは、次の手順にしたがってください。

✓チェック!!

「Windows 98 起動ディスク」は、ハードディスクからWindows 98が起動しなくなったときにフロッピーディスクからWindows 98のシステムを起動し、スキャンディスクを実行するためのフロッピーディスクです。「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で作成できます。万一、システムが起動しなくなったときのために、Windows 98 起動ディスクを作成することをおすすめします。

📖参照

Windows 98 起動ディスクの作り方 →  サポートセンタ - 「困ったときのQ&A」 - 「トラブル解決Q&A」 - 「電源のオン/オフ」 - 「Windows 98 起動ディスクから起動したい」

✓チェック!!

「Windows 98 起動ディスク 1」から起動しない場合は、Windows起動ディスク 1 のセットが遅いのが原因です。約4秒以上電源スイッチを押して電源を切り、5秒以上待ってから、CD-ROMがセットされた状態で電源を入れ直します。

メモ

Windows 98起動ディスクで起動した場合にこれらのコマンドを使用できます。

edit	テキストファイルを編集します。
fdisk	ハードディスクの領域を確保します。
format	ディスクを初期化します。
scandisk	ディスクのエラーを検査し、修復します。
sys	起動用のシステムをドライブへ転送します。

✓チェック!!

スキャンディスクを行ってもパソコンが起動しなかったり、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップ(p.53)を行ってください。

スキャンディスクの起動と終了

1 キーボードで次の順にキーを押します。

【C】:【Enter】

【S】C【A】N【D】I【S】K【Enter】

スキャンディスクが実行され、ハードディスクのチェックがはじまります。エラーが発見されたときは、メッセージが表示されますので、「ファイルに変換する」を選んで修復を実行してください。「クラスタスキャンを実行しますか?」というメッセージが表示されます。

2 【←】キー、【→】キーで<いいえ(N)>を選んで、【Enter】キーを押します。

3 【X】キーを押します。

スキャンディスクの操作は終了です。ハードディスクから再起動したいときは、Windows 98起動ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押して、電源を切ってください。5秒以上待ってからもう一度、電源スイッチを押して、電源を入れます。

スキャンディスクを行ってもパソコンが起動しなかったり、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップを行ってください。詳しくは、「PART3 再セットアップ」(p.53)をご覧ください。

周辺機器を取り付けて電源を入れたら、パソコンが起動しない

「周辺機器」の「別売の周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった」(p.39)をご覧ください。

パソコンの電源が切れない

「電源を入れたが/切ろうとしたが」の「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」にある「Windowsを強制終了させて電源を切る方法」(p.30)をご覧ください。

Safeモードで起動したい

Safeモードはトラブルが発生したときに、最小限のシステム環境で起動するWindowsの起動モードのひとつです。Safeモードの起動方法についてはPART1の「SafeモードでWindowsを起動する」(p.12)をご覧ください。

メモ

再セットアップを行うと購入後に保存したファイルやインストールしたアプリケーションは消えてしまいます。大切なデータは必ずバックアップを取ってから再セットアップしてください。このパソコンにはアプリケーションごとに作成したデータをバックアップできる「バックアップ-NX」があります。

参照

バックアップ-NXについて→「サポートセンター」
「困ったときのQ & A」
「トラブルの予防」
「予防のためのツール」
「バックアップ-NX」

チェック!!

- ・ひんぱんに強制終了を行うとハードディスクが故障することがあります。
- ・強制終了を行うと直後の再起動時にスキャンディスクが自動的に起動します。

チェック!!

Safeモードでは、最小限の機能しか使えません。CD-ROMドライブやプリンタなどは使えません。

参照

Safeモードの起動方法→PART1の「SafeモードでWindowsを起動する」(p.12)

パソコンがこわれそう

パソコンが異常に熱を持ったり、変なにおいがしたり、聞きなれない音がするなど異常と思われることが起きたら、ここをご覧ください。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜き、ご購入元、NECフィールドिंगの各支店、営業所にご相談ください。

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態でなにも作業をしていないときに、ハードディスクが勝手に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためであり、問題はありません。

ただし、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときはデフラグやディスククリーンアップを実行してください。

それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、ご購入元、NECフィールドिंगの各支店、営業所にご相談ください。

メモ

このパソコンを安全に使うための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。必ず読んで注意事項を守ってください。

参照

電源の切り方→「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」(p.29)

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、「サポートセンタ」・「サービス＆サポート」

メモ

データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。

参照

デフラグ、ディスククリーンアップについて→「サポートセンタ」・「困ったときのQ&A」・「トラブルの予防」・「予防のためのツール」・「デフラグ」・「ディスククリーンアップ」

はじめて電源を入れたら

買ってきて、はじめてパソコンを使うときは、まず、Windows 98のセットアップなどが必要です。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

5秒以上たってから電源を入れ直してください。『はじめてお読みください』をご覧ください。そのままセットアップを続けてください。電源を入れてもセットアップの画面が表示されないときは、システムが壊れている可能性がありますので、「PART3 再セットアップ」(p.53)をご覧ください。再セットアップしてください。その場合、名前など最初のセットアップ時に入力した内容は消えてしまいますので、再度入力してください。

ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

Windows 98のセットアップでは、正常に処理が行われていても、数分～十数分間、画面が止まったようになることがあります。画面が止まったように見えてもすぐに電源を切らないでください。

十数分待っても画面の表示が変わらないときや、十数分間ハードディスクアクセスランプが点滅しないときは、電源スイッチを約4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度、電源スイッチを押して、電源を入れます。再起動後、前述の「セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった」と同じ手順で操作してください。

キーボードを接続したがうまく動作しない



キーボードを別売のUSBハブなどのUSBコネクタに接続していませんか？

キーボードを別売のUSBハブなどに接続したい場合は、セットアップ完了後に行ってください。

セットアップや再セットアップのときには、キーボードはパソコン本体のUSBコネクタに接続してください。



『はじめてお読みください』の「PART3 電源を入れてパソコンを使うようにする」



再セットアップ→「PART3 再セットアップ」(p.53)



フリーズ

どんな操作を行っても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなる。アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起きます。ウィンドウを動かしたり、文字を入力することはできないが、マウスだけは動かせるということもあります。フリーズしたことを、ハングアップした、ストールした、落ちた、固まったなどともいいます。



電源の切り方→「強制的に電源を切る方法」(p.31)



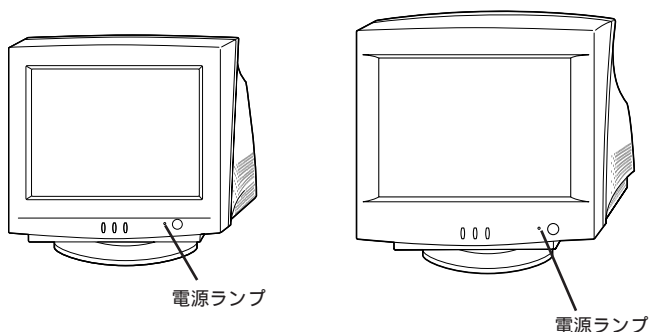
ディスプレイの接続→『はじめてお読みください』PART2の「ディスプレイを接続する」

電源を入れたが / 切ろうとしたが

電源を入れたとき、電源を切ったときにトラブルになったらこちらをご覧ください。

ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイの電源ランプが点灯していないとき



☹️ ➡️ 😊 ディスプレイの電源は入っていますか？

ディスプレイの電源ランプが点灯していないときは、『はじめにお読みください』PART3の「電源の入れ方と切り方」にしたがって、電源を入れてください。

☹️ ➡️ 😊 ディスプレイの電源ケーブルやディスプレイのケーブルは正しく接続されていますか？

『はじめにお読みください』PART2の「ディスプレイを接続する」にしたがって、ディスプレイの電源ケーブルやディスプレイのケーブルを接続しなおしてください。

もう一度、ディスプレイのケーブルを接続しなおして、電源を入れても、ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NEC フィールディングの各支店、営業所にご相談ください。

📖 参照

電源の入れ方→『はじめにお読みください』PART3の「電源の入れ方と切り方」

📌 メモ

ディスプレイの電源ランプの色
セットのディスプレイの電源ランプは、緑色に点灯するときと、オレンジ色に点灯する場合があります。

緑色に点灯しているとき

ディスプレイとパソコンの電源が入っていて、ディスプレイとパソコン本体が接続されています。

オレンジ色に点灯しているとき

ディスプレイの電源が入っているが、パソコン本体と接続されていないか、パソコン本体の電源が入っていないとき、またはスタンバイ状態になっているときです。

✔️ チェック!!

パソコンの電源が入っているときは、ディスプレイとパソコン本体を接続するケーブルの抜き差しは行わないでください。

📖 参照

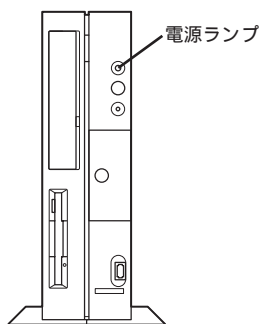
NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、📞「サポートセンタ」-「サービス&サポート」

ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき(別売のディスプレイでは、オレンジ色でない場合もあります)

☹️⇒😊 ディスプレイ用ケーブルが本体に正しく接続されていますか？

『はじめにお読みください』PART2の「ディスプレイを接続する」にしたがって、ディスプレイのケーブルを本体に接続してください。

☹️⇒😊 パソコン本体の電源ランプは点灯していますか？



パソコン本体の電源ランプが点灯していないときは、『はじめにお読みください』PART2の「パソコン本体の電源ケーブルを接続する」にしたがって、電源ケーブルを接続し直してください。

電源ケーブルを接続し直して、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、本体の故障が考えられます。ご購入元、NECフィールドイング各支店、営業所にご相談ください。

☹️⇒😊 パソコン起動後にディスプレイの接続を行っていませんか？
パソコン起動後にディスプレイを接続しても、ディスプレイには何も表示されない場合があります。このような場合は、「強制的に電源を切る方法」(p.31)で、パソコン本体の電源をいったん切り、電源スイッチを押してパソコンを起動してください。

ディスプレイの電源ランプが緑色に点灯しているとき
(別売のディスプレイでは緑色ではない場合もあります)

☹️⇒😊 ディスプレイの輝度(明るさ)、コントラストが、小さくなっていませんか？

ディスプレイのマニュアルをご覧になって、画面の輝度とコントラストを調節してください。

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、パソコン本体やディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所にご相談ください。

📖 参照

『はじめにお読みください』PART2の「ディスプレイを接続する」

✔️ チェック!!

ディスプレイの電源が入っていても、本体の電源が入っていないとディスプレイには何も表示されません。

📖 参照

電源ケーブルの接続のしかた→『はじめにお読みください』PART2の「パソコン本体の電源ケーブルを接続する」

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、👤「サポートセンタ」-「サービス&サポート」

✔️ チェック!!

パソコンの電源が入っているときは、ディスプレイとパソコン本体を接続するケーブルの抜き差しは行わないでください。

📖 参照

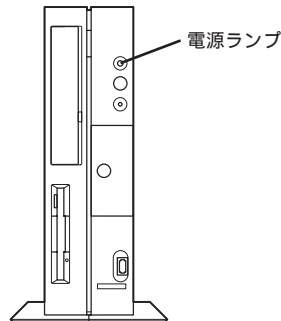
NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、👤「サポートセンタ」-「サービス&サポート」

🔍 モ

添付のディスプレイでは、コントラストの調整はできません。

電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる

パソコン本体の電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき



☹️ ➡️ 😊 マウスを動かすか、キーボードの【スリープ】ボタンまたはキーボードのいずれかのキーを押してください。画面が表示されますか？

画面が表示されたときは、パソコン本体の省電力機能が働いてスタンバイ状態になったと考えられます。

このパソコンは、購入時には、約20分間なにも操作しないと本体の省電力機能が働いてスタンバイ状態になるように設定されています。

本体の電源ランプが緑色に点灯、ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき

ディスプレイの省電力機能が働いたものと考えられます。マウスを動かすか、キーボードのキーをどれか(【Shift】キーなど)を押してください。なお、【スリープ】ボタンは押さないでください。

電源ランプが消えているとき

何らかの理由によって電源が切れたものと考えられます。電源スイッチを押してください。

📖 参照

画面の設定 → 🖱️ 「サポートセンタ」- 「困ったときのQ&A」- 「トラブル解決Q&A」- 「画面」

📖 参照

今後、自動的に画面がまっくらにならないようにしたいとき → 🖱️ 「サポートセンタ」- 「困ったときのQ&A」- 「トラブル解決Q&A」- 「省電力機能」

✔️ チェック！

電源が入っているとき(スタンバイ状態のときも含まれます)に、約4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。スタンバイ状態のときに強制的に電源を切ると元の状態に復帰できなくなります。

📖 参照

省電力機能について → 🖱️ 「サポートセンタ」- 「困ったときのQ&A」- 「トラブル解決Q&A」- 「省電力機能」、『もっと知りたいパソコン』PART9の「省電力機能(スタンバイ)」

✔️ チェック！

停電のときも、電源ランプは消えています。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示され、「Enter a choice:」に「3 (3.Safe mode)」が表示された

次の手順でWindows 98をSafeモードで起動します。

- 1 「Safe mode」が反転しているのを確認して、【Enter】キーを押します。

しばらくすると「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

- 2 【半角/全角】キーを押します。

- 3 しばらくして、表示された画面で「OK」ボタンをクリックします。

Windows 98がSafeモードで起動します。

Safeモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。

「スタート」メニューの「Windowsの終了」から「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックし、再起動して問題がなければ、元の状態に戻ります。

Safeモードで起動し、スキャンディスクを実行後、再起動しても問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。その場合は、再セットアップを行ってください。

「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった

ハードディスクに異常がなければ、しばらくするとWindows 98が起動します。正常に起動しなかったときは、画面の指示にしたがってください。画面の指示もなく、正常に起動しないときは、再セットアップしてください。

✓チェック!!

Safeモードでは、最小限の機能しか使えません。CD-ROMドライブやプリンタなどは使えません。

📖参照

再セットアップ→「PART3 再セットアップ」(p.53)

メモ

正しく電源を切らなかったときや、電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき、スタンバイ状態のときにコンセントが抜けたり停電したときに、このメッセージが表示されます。

📖参照

再セットアップ→「PART3 再セットアップ」(p.53)

「Invalid system disk」と表示される

フロッピーディスクがドライブにセットされているとき

フロッピーディスクを取り出してから、何かキー(【Enter】キーなど)を押してください。ハードディスクからWindows 98が起動します。

フロッピーディスクから起動したいときは、このパソコンに対応したシステムの入ったフロッピーディスクと入れかえてから、電源を入れ直してください。

フロッピーディスクがドライブにセットされていないとき

ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態です。「PART3 再セットアップ」(p.53)をご覧くださいの上、再セットアップしてください。

「Please Insert Another Disk.....」と表示される

☹️➡️😊 フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っていませんか？

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、パソコンを再起動してください。

ハードディスクからWindows 98が起動します。

メモ

Windows 98、またはWindows 95でフォーマットしただけでシステムが入っていないフロッピーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されていると、このようなメッセージが表示されます。

参照

再セットアップ→「PART3 再セットアップ」(p.53)

「Operating System not found」と表示される

フロッピーディスクがドライブにセットされているとき

このパソコンでは使えないフロッピーディスクがセットされています。

フロッピーディスクをドライブから取り出して、再起動してください。

フロッピーディスクがドライブにセットされていないとき

Windows 98起動ディスクでこのパソコンを起動して、次のように入力して、FDISKコマンドを実行します。

- ・ハードディスクが8.4Gバイト未満の場合

FDISK /X【Enter】

- ・ハードディスクが8.4Gバイト以上の場合

FDISK【Enter】

大容量ディスクをサポートするかどうかを選択する画面で、【Y】キーを押して【Enter】キーを押します。

「FDISKオプション」の画面が表示されたら、「4【Enter】」と入力して、「4.領域情報を表示」を選び、次の点を確認してください。

Cドライブの「状態」のところに「A」がついていない

「A」がついていない場合、Cドライブがアクティブでない状態です。「FDISKオプション」の画面で「2.アクティブな領域を設定」を選び、Cドライブをアクティブな状態にしてください。

「領域」の欄の下に何も表示されていないとき、または「システム」の欄の下に「FAT16」,「FAT32」以外のものが表示されているとき

ハードディスクがWindows 98で使える形式でフォーマットされていません。「PART3 再セットアップ」(p.53)をご覧ください。再セットアップしてください。

参照

Windows 98 起動ディスクの作り方 →  「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「電源のオン/オフ」-「Windows 98 起動ディスクからパソコンを起動したい」

モ

Windows 98 起動ディスクは、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」の「起動ディスク」タブで作ります。

参照

Windows 98 起動ディスク → 「Windows 98 起動ディスク」から起動する」(p.17)

参照

再セットアップ → 「PART3 再セットアップ」(p.53)

「Non-system disk or disk error」と表示される

- ☹️ ➡️ 😊 フロッピーディスクがドライブにセットされていませんか？
フロッピーディスクをドライブから取り出して、何かキーを押してください。
ハードディスクからWindows 98が起動します。
フロッピーディスクドライブから起動したい場合は、このパソコンに対応したシステムの入ったフロッピーディスクをセットして、何かキーを押してください。

カーソルが表示されたとき、なにも表示されない

- ☹️ ➡️ 😊 フロッピーディスクがドライブにセットされていませんか？
フロッピーディスクをドライブから取り出して、再起動してください。
ハードディスクからWindows 98が起動します。
フロッピーディスクドライブから起動したい場合は、このパソコンに対応したシステムの入ったフロッピーディスクをセットして、再起動してください。

電源を入れてすぐにフロッピーディスクをセットしたが、しばらくするとハードディスクからWindows 98が起動した

フロッピーディスクをセットするのが遅かった

フロッピーディスクをセットしたまま、Windows 98を再起動してください。
再起動後、フロッピーディスクから起動します。

このパソコンに対応していないフロッピーディスクがセットされている

フォーマットされていないフロッピーディスクか、このパソコンには対応していないシステムの入っているフロッピーディスクです。そのフロッピーディスクからは起動することはできません。このパソコンに対応したシステムの入っているフロッピーディスクをセットして再起動してください。

メモ

MS-DOS でフォーマットしたフロッピーディスクをセットしていると、このようなエラーメッセージが表示されます。

電源を入れるとピーッと音がする

フロッピーディスクがセットされているとき

そのフロッピーディスクにシステムが入っていないか、このパソコンでは使えないフロッピーディスクがセットされているためです。フロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直すか、このパソコンで使えるシステムの入ったフロッピーディスクをセットして再起動してください。

フロッピーディスクがセットされていないとき

エラーメッセージが表示されるときは、そのメッセージを書き留めて、ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所にご相談ください。

このマニュアルや「サポートセンタ」にないエラーメッセージが表示された

このマニュアルや「サポートセンタ」の「困ったときのQ&A」「トラブル解決Q&A」にないメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を書き留めて、ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所にご相談ください。

スキャンディスクの画面が表示された

ハードディスクにトラブルが起こったときや前回の操作で正常終了しなかったときは、「スキャンディスク」が自動的に起動します。スキャンディスクが終了したら画面の指示にしたがって操作してください。

周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった

「周辺機器」の「別売の周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった」(p.38)をご覧ください。

参照

このパソコンで使えるフロッピーディスク→『はじめにお読みください』付録の「このパソコンで使えるフロッピーディスク」

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、 「サポートセンタ」-「サービス&サポート」

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、 「サポートセンタ」-「サービス&サポート」

パソコンの使用環境を変更したら、Windows 98 が起動しない

BIOSセットアップメニューで、パソコンの使用環境を変更して、このような状態になったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。

- 1 別売の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、購入時の状態に戻します。
- 2 パソコン本体の電源を入れます。
「NEC」のロゴが表示されます。
- 3 【F2】キーを押します。
キーの説明が表示されます。
- 4 【F9】キーを押します。
「セットアップ確認」の画面が表示されます。
- 5 <はい>が選択されていることを確認して【Enter】キーを押します。
システムの設定が初期値に戻ります。
- 6 【F10】キーを押します。
「セットアップ確認」の画面が表示されます。
- 7 <はい>が選択されていることを確認して【Enter】キーを押します。
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

正しい電源の切り方

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。
- 2 「電源を切れる状態にする」が  になっているときは、クリックして  (オン) にし、「OK」をクリックします。
しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、アプリケーションに異常が起きていると考えられます。次の操作を行ってください。

✓チェック!!

【F2】キーを押してもキーの説明が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何回か【F2】キーを押してください。

✓チェック!!

「BIOS セットアップメニュー」で設定したパスワードは、初期値に戻りません。

📖参照

BIOS セットアップメニューについて→『もっと知りたいパソコン』PART10の「BIOS セットアップメニュー」

📖参照

電源の切り方→『はじめにお読みください』PART3の「電源の入れ方と切り方」

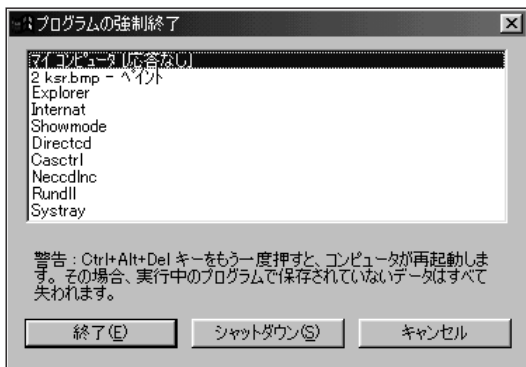
✓チェック!!

電話回線を使うアプリケーションを起動しているときは、終了させてから電源を切ってください。

異常が起きているアプリケーションを終了させる方法

- 1 【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーを1回押します。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。



- 2 右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「終了」ボタンをクリックします。
この方法で異常を起こしていたアプリケーションが終了できた場合は、「正しい電源の切り方」(p.29)にしたがって、電源を切ってください。

この方法でアプリケーションが終了できなかったり、終了できても、「正しい電源の切り方」(p.29)で電源が切れないときは、次の操作を行ってください。

Windows を強制終了させて電源を切る方法

- 1 「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されている場合は、【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーを1回押します。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。

- 2 「シャットダウン」ボタンをクリックします。
しばらくすると自動的にWindowsが終了し、電源が切れます。

この方法でも電源が切れない場合は、次のページの「強制的に電源を切る方法」にしたがって、電源を切ってください。

✓チェック!!

【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーは、2回以上押さないでください。

✓チェック!!

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されるまで時間がかかる場合があります。
表示されない場合は、しばらくお待ちください。

✓チェック!!

アプリケーションで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

✓チェック!!

【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーは、2回以上押さないでください。

強制的に電源を切る方法

- 1 パソコンの電源スイッチを約4秒以上押しつづけます。
パソコンの電源が切れます。
- 2 しばらく(5秒以上)たってから、電源スイッチを押します。
パソコンの電源が入り、場合によっては、スキャンディスクが自動的に始まり、ハードディスクがチェックされます。
スキャンディスクで異常が発見されなかったときや、スキャンディスクが実行されなかったときは、そのままWindowsが起動します。
- 3 「スタート」ボタンをクリックして、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。
- 4 「電源を切れる状態にする」の  をクリックして  (オン) にして、「OK」ボタンをクリックします。
パソコンの電源が切れます。

再セットアップをしてもトラブルが解決しない場合は『NEC PC あんしんサポートガイド』や  「サポートセンター」「サービス&サポート」をご覧ください。各問い合わせ窓口にお問い合わせください。

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切った場合、アプリケーションによっては、電話回線が強制的に切断されることがあります。この場合、ダウンロード中のデータは正常に保存されないことがあります。

✓チェック!!

スキャンディスクの結果、なにかメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。
うまく起動できなかった場合は、再セットアップが必要になります。
「PART3 再セットアップ」(p.53)をご覧ください。再セットアップしてください。

メモ

再セットアップを行うと購入後に保存したファイルやインストールしたアプリケーションは復元されません。大切なデータは必ずバックアップを取ってから再セットアップしてください。このパソコンにはアプリケーションごとに作成したデータをバックアップできる「バックアップ-NX」があります。

参照

バックアップ-NXについて →  「サポートセンター」-「困ったときのQ & A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「バックアップ-NX」

✓チェック!!

電話回線を使うアプリケーションを起動しているときは、アプリケーションを終了させてから電源を切ってください。

マウス、キーボード

マウスやキーボードが動かないときは、ここをご覧ください。

マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった

やわらかい布などで拭き取ってください。キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いたあとで、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、ご購入元、NEC フィールディングの各支店、営業所にご相談ください。

マウスを動かしても、何も反応しない

☹️ ➡️ 😊 マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っててください。

☹️ ➡️ 😊 マウスとキーボード、キーボードとパソコン本体の接続を確認してください。

『はじめにお読みください』PART2の「キーボードを接続する」、「マウスを接続する」にしたがって、マウスとキーボード、キーボードとパソコン本体を接続し直してください。マウスとキーボード、キーボードとパソコン本体が正しく接続されていないとマウスの操作はできません。

参照

マウスの設定を変えるには → 「サポートセンタ」- 「困ったときのQ&A」- 「トラブル解決Q&A」- 「マウス」

参照

パソコンのお手入れについて → 『もっと知りたいパソコン』付録の「パソコンのお手入れ」

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいに拭き取っても内部に糖分などが残り、マウスやキーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。

参照

NECのお問い合わせ先 → 『NEC PC あんしんサポートガイド』、 「サポートセンタ」- 「サービス&サポート」

チェック!!

Windows 98 セットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

参照

『はじめにお読みください』PART2の「キーボードを接続する」、「マウスを接続する」

- ☹️➡️😊 しばらく待っても、マウスの操作ができないとき
プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているプログラムを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

キーボードのキーを押しても、何も反応しない

- ☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

- ☹️➡️😊 キーボードとパソコン本体との接続を確認してください。
『はじめにお読みください』PART2の「キーボードを接続する」にしたがって、キーボードとパソコン本体を接続し直してください。キーボードのプラグがパソコン本体から抜けていたり、きちんと奥まで差し込まれていないとキーボードの操作はできません。

- ☹️➡️😊 しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき
プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているプログラムを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

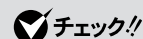
- ☹️➡️😊 キーボードのUSBコネクタを何回も続けて抜き差ししましたか？

USB対応機器は電源を入れたまま、USBコネクタを抜き差しできますが、パソコン本体が認識するまで数秒から10秒程度かかります。そのため急激にUSBコネクタを抜き差しすると、キーボードが何も反応しなくなることがあります。このようなときは、電源スイッチを約4秒以上押しつけてパソコンを強制終了してください。USBコネクタは、6秒以上待ってから抜き差ししてください。



参照

強制終了の方法→「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.30)



チェック!

Windows 98 セットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。



参照

『はじめにお読みください』PART2の「キーボードを接続する」



参照

強制終了の方法→「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.30)

☹️ ➡️ 😊 キーボードを別売のUSBハブなどのUSBコネクタに接続していませんか？

キーボードを別売のUSBハブに接続して使うときは、次の点に注意してください。

- ・本体のUSBコネクタにキーボードを接続し、使用したいUSBコネクタにUSBハブを接続して認識させてください。その後で、キーボードをUSBハブに接続し直してください。
- ・キーボードはセルフパワーデバイスのUSBハブに接続してください。
- ・3台以上のUSBハブを接続するときは、キーボードはパソコン本体に近いUSBハブのUSBコネクタに接続することをおすすめします。
- ・セットアップや再セットアップをするときは、本体のUSBコネクタにキーボードを接続してください。

キーボードのUSBコネクタに接続した機器が動作しない

キーボードのUSBコネクタに接続できる機器は、ローパワーデバイスまたはセルフパワーデバイスのUSB対応機器だけです。接続できる機器について詳しくは、『もっと知りたいパソコン』の「PART3 USB対応機器を使う」をご覧ください。

CD/DVDプレーヤボタン、ワンタッチスタートボタン、スリープボタンが機能しない

☹️ ➡️ 😊 MS-DOSモード、Windows 98のSafeモードになっていませんか？

CD/DVDプレーヤボタン、ワンタッチスタートボタン、スリープボタンは、MS-DOSモード、Windows 98のSafeモードでは機能しません。

Windows 98上で使用してください。

📖 参照

USBについて→『もっと知りたいパソコン』PART3の「USB対応機器を使う」

メモ

セルフパワーデバイスとは、独自に電源をもっているUSB対応機器のことです。

📖 参照

USB対応機器について→『もっと知りたいパソコン』「PART3 USB対応機器を使う」

アプリケーション

アプリケーションを使っていてトラブルが起きたときは、ここをご覧ください。

アプリケーションが起動しなくなった

☹️ ➡️ 😊 他のアプリケーションを起動していませんか？

すでに他のアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、パソコンを再起動してください。

☹️ ➡️ 😊 アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリはありますか？

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

このパソコンには、購入時には64Mバイトのメモリが搭載されています。それ以上のメモリが必要な場合は、メモリを増設してください。

☹️ ➡️ 😊 ファイルサイズの大きな壁紙を使っていませんか？

ファイルサイズの大きな壁紙を使っていると、メモリが不足してアプリケーションを起動できなくなることがあります。壁紙のファイルサイズを確認して、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。

☹️ ➡️ 😊 そのアプリケーションは省電力機能(スタンバイ)に対応していますか？

対応していないアプリケーションでスタンバイ状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、スタンバイ状態にしないでください。

この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、約4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

✓チェック!!

トラブルを予防するために、メンテナンスウィザードで登録したシステムツールで、定期的にチェックをすることをおすすめします。

メモ

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できないことがあります。

📖参照

メモリを増設するには→『もっと知りたいパソコン』PART6の「メモリを増やす」

📖参照

壁紙を変更する→👤「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決 Q&A」-「画面」

📖参照

省電力機能(スタンバイ)→『もっと知りたいパソコン』PART9の「省電力機能(スタンバイ)」

パソコンに添付のアプリケーションを追加または削除したい

インストーラ-NXを使うと、パソコンに添付のアプリケーションを追加したり削除したりできます。

以下の手順にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「サポートセンタ」・「サポートセンタ」の順にクリックします。
「サポートセンタ」が起動します。
- 2 「パソコンを使いこなそう」・「アプリケーションの追加と削除」の順にクリックします。
アプリケーションの一覧が表示されます。アプリケーションの横に **NX** がついているものは、インストーラ-NXを使って追加したり削除したりできます。
- 3 追加/削除したいアプリケーションをクリックします。
アプリケーションの追加と削除の方法が表示されます。
アプリケーションの追加と削除をする前に、この部分を印刷もしくはメモすることをおすすめします。
- 4 「戻る」ボタンをクリックします。
アプリケーションの一覧へ戻ります。
- 5 **NX 起動** をクリックします。
「インストーラ-NX」ウィンドウが表示されます。



- 6 追加または削除したいアプリケーション名をクリックします。
- 7 追加したいときは「インストール」ボタン、削除したいときは「アンインストール」ボタンをクリックします。
これ以降は、手順3で印刷もしくはメモした追加および削除方法にしたがって追加と削除を行ってください。

メモ

「サポートセンタ」はアクティブメニュー-NXの「サポートセンタ」をクリックしても起動できます。

チェック!!

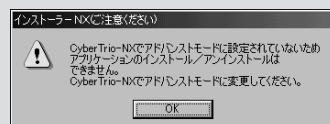
- ・アプリケーションの追加や削除の前には、**必ずお読みください** をクリックして、アプリケーションの追加と削除に必要な情報をよく読んでおいてください。
- ・アプリケーションのメニューに削除機能が用意されているものもあります。

メモ

インストーラ-NXは、「スタート」・「プログラム」・「アプリケーション」・「インストーラ-NX」をクリックしても起動できます。

チェック!!

- ・インストーラ-NXを使っているときに次のウィンドウが表示された場合は、「アドバンスモードに切り替える」(p.11)をご覧ください。



- ・サポートセンタを削除してしまったときは、「スタート」メニュー・「サポートセンタ」・「アプリケーションの追加と削除」をクリックしてください。アプリケーションの追加と削除に関する説明が表示されます。

アプリケーションが突然止まった(フリーズした)

Windows 98でアプリケーションを使っていると、突然キーボードやマウスの操作ができなくなってしまうことがあります。パソコンが故障したわけではありません。

この原因はさまざまですが、停止してしまったアプリケーションだけを強制的に終了させることで、Windows 98の操作を続けることができます。「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.30)にしたがって、アプリケーションを終了させてください。

アプリケーションについて問い合わせをしたい

パソコンに添付のアプリケーションについて問い合わせるときは、「サポートセンタ」「サービス&サポート」「NECのサービス&サポート窓口」や『ソフトウェア使用条件適用一覧』裏面の「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」をご覧ください。また、パソコンご購入後、ご自分で追加された別売のアプリケーションについては、そのアプリケーションの販売元にお問い合わせください。

「リソースが足りない」という意味のメッセージが表示されて、アプリケーションが正常に動作しない

複数のアプリケーションを同時に起動していると、メモリが不足して新たなアプリケーションを起動できなくなることがあります。すでに複数のアプリケーションが起動しているときには、使わないアプリケーションを終了してから新しいアプリケーションを起動してください。それでもアプリケーションが起動しない場合は、パソコンを再起動してください。

チェック!

「例外エラー」、「一般保護違反」などの画面が表示された場合、強制終了したり、電源スイッチを押したりする前に、メッセージの内容やエラーコードの内容を巻末のトラブルチェックシートに書き取っておいてください。お問い合わせの際、トラブルの原因を調べるのに役立ちます。

参照

- ・リソースについて→PART1の「アプリケーションの動作に必要な環境を確保する」(p.5)
- ・再起動する→PART1の「トラブルを解決するには」の「パソコンを再起動する」(p.7)

周辺機器

別売の周辺機器を取り付けるときは、『もっと知りたいパソコン』や周辺機器のマニュアルをご覧になって接続してください。

別売の周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった

このようなときは、周辺機器のドライバが原因でパソコンが起動できなくなったと考えられます。

Safeモードでパソコンを起動して、トラブルになったドライバを無効にして、正しいドライバをインストールするか、ドライバ自体を削除する必要があります。

次の手順にしたがって設定してください。

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、【F5】キーを何回か押します。
- 3 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角/全角】キーを押します。
「Windows 98はSafeモードで実行されています。」と表示されます。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。
- 5 「デバイスマネージャ」ウィンドウ(p.11)を表示して、追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックします。
「周辺機器のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 6 「全般」タブをクリックして、「すべてのハードウェア プロファイルを使用する」の ☒ をクリックして ☐ (オフ) にし、新しく取り付けた周辺機器のドライバを無効にします。
- 7 「OK」ボタンをクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 8 「OK」ボタンをクリックします。
- 9 「スタート」ボタンから「Windowsの終了」をクリックし、「再起動する」の ☐ をクリックして ☒ (オン) にします。
- 10 「OK」ボタンをクリックします。
パソコンが起動し、通常のモードで立ち上がります。

この方法でも起動できないときは、パソコンの電源を切ってから新しく取り付けた周辺機器を外してください。

✓チェック!!

CyberTrio-NX の「ベーシックモード」の状態で、Safe モードを起動すると、デバイスマネージャによるハードウェアの設定変更ができなくなります。

📖参照

設定変更ができるようにするには→
 「添付ソフトの使い方」-「CyberTrio-NX」-「ベーシックモード」-「ベーシックモードでの注意」

また、新しく取り付けた周辺機器を使用したいときは、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください、ドライバのインストールを再度行ってください。

ただし、ドライバを再インストールした後も、まだ周辺機器の動作にトラブルがある場合は、ドライバを最新のものに更新すると正しく動作することがあります。次の手順でドライバを更新してください。

- 1 周辺機器の最新のドライバを用意してください。
- 2 「デバイスマネージャ」ウィンドウ (p.10) を表示し、追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックします。
「周辺機器のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
以降は画面の指示にしたがってドライバの更新をしてください。

別売の周辺機器を取り付けたが、正しく動作しない

☹️ ➡️ 😊 電源を入れる順序は正しいですか？

パソコンが起動してから、周辺機器の電源を入れてもパソコン側で正しく認識されません。最初に周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れてください。

☹️ ➡️ 😊 周辺機器がパソコンに正しく接続されていますか。取り付けた周辺機器の設定は正しいですか？

周辺機器がパソコンと正しく接続されているか、ケーブルやコネクタを確認してください。周辺機器の設定が正しいか、確認してください。

☹️ ➡️ 😊 デバイスマネージャに赤い「×」や黄色い「！」がついていませんか？

「サポートセンター」「困ったときのQ&A」「トラブル解決Q&A」「周辺機器」をご覧ください、赤い「×」マークや黄色い「！」が見つからないように設定し直してください。

☹️ ➡️ 😊 ドライバをインストールした後に、パソコンを再起動しましたか？

PCカードなどのプラグアンドプレイに対応した周辺機器のドライバをインストールした場合は、再起動する必要がある場合があります。ドライバをインストールした後、パソコンを再起動してください。

📖 参照

ドライバのインストール → 『もっと知りたいパソコン』PART2の「ドライバなどをインストールする」

📌 メモ

最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateを行うと最新のドライバをダウンロードでき、周辺機器のドライバを更新することがあります。Windows Updateをするには「スタート」ボタンをクリックし「Windows Update」をクリックしてください。

✅ チェック!!

USB対応の周辺機器は、パソコンが起動した後から電源を入れても正しく認識されます。

📖 参照

リソースの変更 → Windows のヘルプ

省電力機能

さまざまな省電力機能を使って、消費電力が抑えられている状態がスタンバイ状態です。スタンバイ状態のときには、作業内容は保持(記憶)されています。元の状態に戻すには、キーボードの【スリープ】ボタンを押すかキーボードまたはマウスを操作します。

スタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない

☹️ ➡️ 😊 アプリケーションや周辺機器は省電力機能(スタンバイ)に対応していますか？

対応していないアプリケーションや周辺機器でスタンバイ状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態にしないでください。

☹️ ➡️ 😊 電源ケーブルは正しく接続されていますか？

電源ケーブルをコンセントに接続します。電源ケーブルが正しく接続されていなかった場合、作業内容は保持されません。

☹️ ➡️ 😊 スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？

スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。

☹️ ➡️ 😊 スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを約4秒以上押し続けませんでしたか？

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを約4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。

なお、次のような場合にはスタンバイ状態にする前の内容の復元が保証されません。

📖 参照

省電力機能について→『はじめにお読みください』PART3の「一時的に作業を中断する(スタンバイ)」、『もっと知りたいパソコン』PART9の「省電力機能(スタンバイ)」、「ディスプレイ」

✔️ チェック!

画面が暗くなったまま、もとに戻らないときは、電源スイッチを約4秒以上押し続け、強制的に電源を切ってください。

📌 メモ

スタンバイ状態から元に戻すには

- ・キーボードの【スリープ】ボタンを押す
- ・キーボードのいずれかのキーを押す
- ・マウスを動かす

スタンバイ状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、スタンバイ状態にする前の内容は保証されません。

- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中にフロッピーディスクを入れ替えたとき
- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中にCD-ROMやDVD-ROMなどを入れ替えたとき
- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中に本機の変更したとき
- ・スタンバイ状態のときに本機の機器構成を変更したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にしても、スタンバイ状態から復帰後の内容は保証されません。

- ・プリンタへ出力中のとき
- ・モデムなどを使って通信中のとき
- ・サウンド機能により音声を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- ・CD-ROMやDVD-ROMなどを読み取り中のとき
- ・スタンバイ状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

自動的にスタンバイ状態になってしまう

ご購入時には、約20分間パソコンを使わないとスタンバイ状態になるように設定されています。スタンバイ状態にならないようにするには、「コントロールパネル」(p.10)の「電源の管理」で設定を変更します。

自動的にスタンバイ状態にならない

プリンタなど双方向通信を行う周辺機器を使用している場合は自動的にスタンバイ状態にはできません。使用中の周辺機器の動作を中止するか、周辺機器の電源を切ってください。



参照

自動的にスタンバイ状態にしないようにするには→『もっと知りたいパソコン』PART9の「省電力機能(スタンバイ)」

スタンバイ状態にならない。「コントロールパネル」の「電源の管理」で設定してもスタンバイ状態にならない

☹️➡️😊 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度、設定をやり直してください。

通信中、スタンバイ状態にできないアプリケーションがあります。電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態にしてください。

☹️➡️😊 スタンバイ状態から復帰中に、キーボードの【スリープ】ボタンまたは電源スイッチを押しませんでしたか？

スタンバイ状態から復帰中にキーボードの【スリープ】ボタンまたは電源スイッチを押すと、復帰後にキーボードの【スリープ】ボタンを押してもスタンバイ状態にできなくなる場合があります。このような場合には、次の手順でパソコンを再起動してください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

2 「再起動する」の  をクリックし、 (オン) にして、「OK」ボタンをクリックします。

スタンバイ状態にしようとしたら「デバイスドライバかプログラムが原因で待機モードに入れません。すべてのプログラムを終了してからもう一度やり直してください。」と表示された。またはスタンバイ状態にできない

☹️➡️😊 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度、設定をやり直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態にしてください。

メモ

スタンバイ状態にするには

- ・キーボードの【スリープ】ボタンを押す
- ・「Windows の終了」ウィンドウで「スタンバイ」を選択して「OK」ボタンをクリックする

スタンバイ状態にできない。または、省電力を設定しても自動スリープ機能が利用できない

☹️➡️😊 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定し直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態にしてください。

☹️➡️😊 アプリケーションや周辺機器は、スタンバイ状態に対応していますか？

アプリケーションによっては、周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態にしないでください。

休止状態にできない

このパソコンでは休止状態にすることはできません。

メモ

休止状態とは、実行中の作業内容を自動的にハードディスクに保存し、電源を切った状態のことです。普通に電源を切るのとは異なり、休止状態から復帰させると、作業内容を復元することができます。

パスワード

パスワードを入力してもネットワークに接続できない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

☹️ ➡️ 😊 キーボード右上の  (キャップスロックキーランプ) が点灯していませんか？

点灯しているときは大文字入力になりますので、【Shift】キーを押しながら、【Caps Lock】キーを押して、キャップスロックを解除してから、パスワードを入力し直してください。

パスワードを忘れてしまった

Windows 98 のパスワードを忘れてしまったとき

Windows 98 のパスワードを入力するウィンドウで、【Esc】キーを押すと、Windows 98 が起動して、使えるようになります。ただし、ネットワークには接続できません。再設定したいときは、再セットアップしてください。

ユーザパスワード、スーパーバイザパスワードを忘れてしまった

「サポートセンタ」「パソコンを使いこなそう」「ハードウェア情報」「BIOS設定」をご覧ください。パスワードの設定を解除して設定し直してください。



Windows 98 のパスワードは、ネットワークの設定などをするときに、設定します。



再セットアップ → 「PART3 再セットアップ」(p.53)



ユーザパスワード、スーパーバイザパスワードの解除、設定 →  「サポートセンタ」- 「パソコンを使いこなそう」- 「ハードウェア情報」- 「BIOS設定」

MS-DOS モード / MS-DOS プロンプト

MS-DOSモード/MS-DOSプロンプトを使っていてトラブルが起きたときは、ここをご覧ください。

MS-DOSモードを終了して、Windows 98に戻りたい

カーソルが点滅している状態で次のように入力してください。

【E】X【I】T【Enter】

MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった。元に戻したい

【Alt】キーを押しながら【Enter】キーを押してください。

MS-DOSプロンプト画面でWindows 98のスクリーンセーバーが起動した

次の手順で設定を変更すると、スクリーンセーバーが動作しないようになります。

- 1 【Alt】キーを押しながら【Enter】キーを押します。
MS-DOSプロンプトの画面がフルスクリーン表示からウィンドウ表示に切り替わります。
- 2 【Alt】キーを押しながら【スペース】キーを押します。
MS-DOSプロンプトのメニューが表示されます。
- 3 メニューから「プロパティ」を選択します。
「MS-DOSプロンプトのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「その他」タブをクリックします。
- 5 「ウィンドウがアクティブな場合」の「スクリーンセーバーを使用する」のチェックを外します。
- 6 「OK」ボタンをクリックします。
- 7 【Alt】キーを押しながら【Enter】を押します。

MS-DOSプロンプトの画面がウィンドウ表示からフルスクリーン表示に切り替わります。

コンピュータウイルスが発見されたら

VirusScanなどのウイルス駆除ツールを使ってコンピュータウイルスを発見した場合は、ここをご覧ください。

コンピュータウイルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し、被害を届け出てください。

ウイルスを駆除する

ウイルスを駆除するには、ウイルスが感染したファイルを削除するのがいちばん確実です。アプリケーションのファイルであれば、削除してインストールし直してください。バックアップがあるファイルは、削除したあと、コピーし直してください。バックアップも感染している可能性があるので、ウイルス検査をしてください。

削除できないファイルの場合は、「VirusScan Ver 4.0」などのウイルス除去機能があるアプリケーションでそのファイルのウイルスを削除してください。

さらに、二次感染を防ぐため、使っていたハードディスク、フロッピーディスク、MOディスクなどはすべてウイルス検査してください。

被害を届け出る

日本では、コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人に関わらず、次の届け出先に届けることが義務づけられています(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)。届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、被害対策のための貴重な情報になるので積極的に報告してください。

届け出先

情報処理振興事業協会(通称IPA)セキュリティセンター
ウイルス対策室

本部 : 〒113-6591

東京都文京区本駒込2-28-8

文京グリーンコート センターオフィス16階

IPAセキュリティセンターウイルス対策室

電話 : 03-5978-7509

FAX : 03-5978-7518

ホームページアドレス : <http://www.ipa.go.jp/>

このパソコンにはVirusScan 4.0.3aがインストールされています。

 参照

VirusScan について →  「サポートセンタ」「困ったときのQ&A」「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「VirusScan」

本機にプリインストールされているVirusScanでは新種のウイルスを検出できない場合があります。新種のウイルスに対応するため、DATファイルを更新する必要があります。

 チェック!!

インターネットに接続できる環境(プロバイダに入会済みの場合)では、「VirusScan セントラル」で「アップデート」ボタンを押すことにより最新版のDATファイルをダウンロードできます。ただし、「VirusScan セントラル」の「アップデート」機能で「インターネットアクセス可能ですか」の「いいえ」を選んだ場合は、日本国外に電話をかけることがありますので十分に注意してください。

 チェック!!

DATファイルの更新だけでは検出できないウイルスが発生する場合があります。その場合はVirusScanを別途ご購入し、バージョンアップしてください。

その他

これまでのところで、あなたのトラブルが見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「サポートセンタ」や他のマニュアル、ヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

添付品に足りないものがあった

☹️➡️😊 まず、『箱の中身を確認してください』をご覧ください、すべての添付品がそろっているか確認してください。

☹️➡️😊 いくつかの添付品がひとつにまとめて包装されていることがあります。添付品を包んでいるビニール袋などをすべて開けて確認してください。

それでも添付品が足りないときは、ご購入元にご相談ください。

添付品の接続のしかたがわからない

『はじめにお読みください』の「PART2 パソコンの接続をする」をご覧ください、接続を行ってください。



『はじめにお読みください』PART2
の「パソコンの接続をする」

BIOSセットアップメニューの設定値を、購入時の状態に戻せない

☹️➡️😊 本体とキーボードの間に2台以上のUSBハブを経由して、キーボードを接続していませんか？

本体とキーボードの間に2台以上のUSBハブを接続していると、キーボードが動作しないため、BIOSセットアップメニューの設定値を購入時の状態に戻すことができません。本体とキーボードの間には、1台のUSBハブを経由してキーボードを接続してください。



BIOSセットアップメニュー→『もっと知りたいパソコン』PART10の
「BIOSセットアップメニュー」

このパソコンを廃棄したい

このパソコンを廃棄するときは、地方自治体の条例にしたがって処理してください。くわしくは各地方自治体にお問い合わせください。

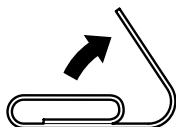
やりたいことが、どのマニュアルに載っているかわからない

このパソコンに添付しているマニュアルの中で、やりたいことを探したいときは、『サポートセンタ』パソコンを使いこなそう』マニュアルの利用法』で探してください。

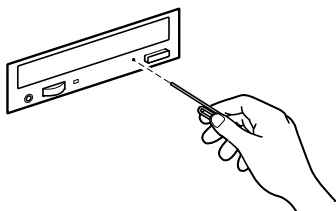
CD-ROMなどのディスクが取り出せない

停電やアプリケーションの異常な動作などにより、CD-ROMドライブからCD-ROMなどのディスクを取り出せなくなった場合は、次の手順で、強制的に取り出してください。

- 1 太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度（指でつまむ部分を除く）の針金を用意します。大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

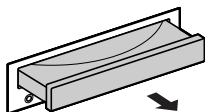


- 2 パソコン本体の電源を切ります。
- 3 パソコン本体を横に倒しルーフカバーを外します。
- 4 ディスクトレイの直径2mm程度の穴に、手順1で作った針金を差し込み、強く押し込みます。



ディスクトレイが15mmほど飛び出します。

- 5 ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出します。



メモ

ディスクトレイは、パソコンの電源が切れている状態では、出し入れできません。

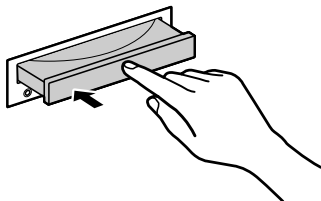
チェック!!

CD-ROMドライブのカバーは、イジェクトボタンを押すと、自動的に開くようになっています。イジェクトボタンを押してもカバーが開かないときは、必ずこの手順でCD-ROMを取り出してください。カバーを無理に開こうとすると、カバーが壊れる場合があります。

参照

ルーフカバーを外す→『もっと知りたいパソコン』PART2の「ルーフカバーの外し方」

- 6 ディスクトレイの前面を、イジェクトボタンを押さないように注意しながら、ディスクトレイがもとどおりに収納されるまで押し込みます。



- 7 パソコン本体のルーフカバーを取り付けます。

「サポートセンタ」が表示されない。起動しない

- ☹️➡️😊 CyberTrio-NXのモードが『キッズモード』になっていませんか？

「キッズモード」に設定されていると、「マイプログラム」または「キッズモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションしか使用できなくなります。「キッズモード」から他のモードへ変更するには、次の手順にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「CyberTrio-NX」、「Go to ベーシックモード」または「Go to アドバンスモード」の順にクリックします。パスワードを設定しているときは、ここで「パスワード入力」ウィンドウが表示されます。

- 2 パスワードを入力して、「OK」をクリックします。

- ☹️➡️😊 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から「サポートセンタ」を削除しませんでしたか？

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」にはサポートセンタに関するものとして「サポートセンタ」が2つありますが、そのどちらか片方を削除すると、サポートセンタはうまく起動しなくなります。その場合は、「スタート」メニュー-「サポートセンタ」-「アプリケーションの追加と削除」の順にクリックして、記載されている「サポートセンタ」の追加方法をご覧になり、「インストーラ-NX」を使って「サポートセンタ」の再追加をしてください。

📖 参照

ルーフカバーを取り付ける→『もっと知りたいパソコン』PART 2 の「ルーフカバーの取り付け方」

📖 参照

キッズモードについて→📎「添付ソフトの使い方」-「CyberTrio-NX」-「キッズモード」

✔️ チェック!

設定したパスワードを忘れたときは、次の「緊急パスワード」を入力して、他のモードへ変更してから、パスワードをもう一度設定し直してください。

「緊急用パスワード」: 71709981

📖 参照

サポートセンタの再追加→「パソコンに添付のアプリケーションを追加または削除したい」(p.36)

日付と時刻を設定したい

日付や時刻が合っていないと、保存したファイルの時間がずれたり、インターネットで送信したメールの日付がおかしくなったりします。次の手順で設定してください。

- 1 コントロールパネルを開き、「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 2 正しい日付と日時を設定します。



- 3 設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。再設定しても日付と時刻がおかしくなるときは、内蔵の電池が消耗していることが考えられます。NECフィールドイングの各支店、営業所にご相談ください。

このパソコンで使えるOSの種類を知りたい

次のOSが使えます。

- ・ このパソコンにあらかじめインストールされている Windows 98 Second Edition(市販のWindows 98およびWindows 98 Second Editionは、利用できません)
- ・ Microsoft® Windows® 2000 Professional

Windows 2000を使う場合は、アプリケーションCD-ROM Vol.2にある次のファイルに書かれている説明をご覧ください。

Q:¥WIN2K¥Readme.txt

なお、標準搭載デバイスや増設機器、周辺機器、インストールアプリケーションがWindows 2000ではご利用できない場合があります。それらの情報は、98Information(<http://www.nec.co.jp/98/>)で、順次ご提供します。なお、弊社製以外の製品については、各メーカーにお問い合わせください。本機にインストールされているソフトウェア、および添付ソフトウェアはWindows 2000では利用できません。

Microsoft® Windows® 2000 Server、Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server、Microsoft® Windows® 2000 Datacenter Serverは利用できません。

Windows 95、Windows NTをお使いになることはできません。

Windows 2000を利用したい

本機では、別売の「Microsoft® Windows® 2000 Professional」を利用することができます。

Windows 2000を利用する場合は、アプリケーションCD-ROM Vol.2にある次のファイルに書かれている説明をご覧ください。

Q:¥WIN2K¥Readme.txt

なお、標準搭載デバイスや増設機器、周辺機器、インストールアプリケーションがWindows 2000ではご利用できない場合があります。それらの情報は、98Information(<http://www.nec.co.jp/98/>)で、順次ご提供します。なお、弊社製以外の製品については、各メーカーにお問い合わせください。本機にインストールされているソフトウェア、および添付ソフトウェアはWindows 2000では利用できません。

Microsoft® Windows® 2000 Server、Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server、Microsoft® Windows® 2000 Datacenter Serverは利用できません。

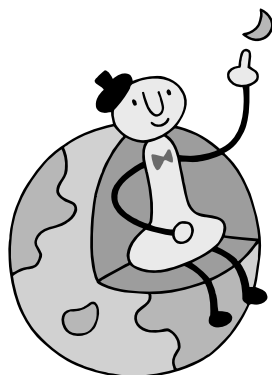
P A R T

3

再セットアップ

システムを起動できなくなったときなどは、システムを再セットアップしてください。

再セットアップを行うと、ハードディスクドライブのファイルやフォルダはすべて消えてしまいます。必ず、再セットアップの前に大切なファイルを MO、外付けハードディスクや CD-RW、フロッピーディスクなどにコピー（バックアップ）しておいてください。



再セットアップが必要なのは

再セットアップを行うと、壊れてしまったパソコンのシステムを復旧することができます。

ただし、ハードディスクに保存したファイルが消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよく確認してからはじめてください。



再セットアップ

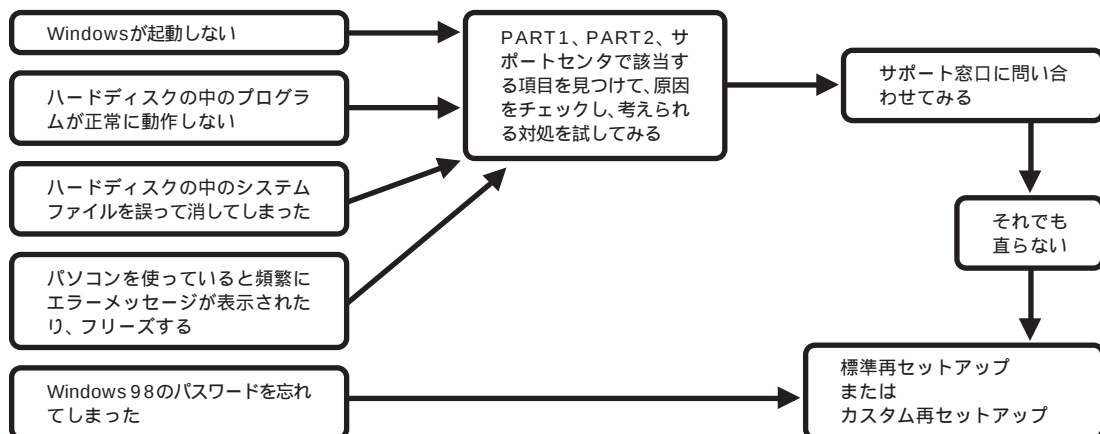
このパソコンのシステムが壊れてしまったときに、CD-ROMに入っているデータを使って、購入時と同じ状態に戻す作業のことです。

Windowsの再インストールも再セットアップに含まれます。

再セットアップが必要なのはこんなときです

次のようなとき、パソコンの再セットアップが必要です。

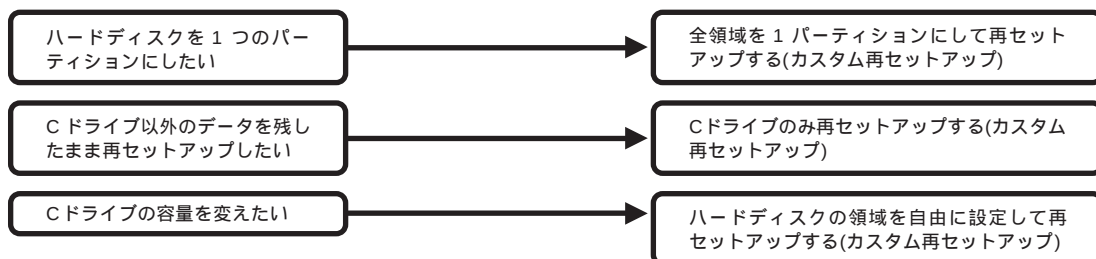
トラブルによるシステムの復旧



Windows 98の状態を変更する



ハードディスクの設定を変更する



再セットアップに関する注意

- ・ご自分で作成した大切なデータは、必ずMO、外付けハードディスクやCD-RW、フロッピーディスクなどにバックアップしてから再セットアップしてください。
- ・再セットアップは、このあとの手順に必ずしたがって行ってください。データのバックアップ、インターネットなどの設定の記録、別売の周辺機器の取り外しなどの手順も省略しないで必ず行ってください。
- ・再セットアップは途中でやめないでください。途中でやめてしまったときは、もう一度最初からやり直してください。

参照

バックアップをとる → 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「バックアップ-NX」

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

再セットアップには、「標準再セットアップ」と「カスタム再セットアップ」の2つがあります。ここでは4つのパターンに分けて、再セットアップの手順を説明します。

●標準再セットアップ

購入したときと同じ状態にする

ハードディスクを購入したときと同じ状態に戻します。

初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、必ず、この方法で再セットアップしてください。再セットアップ前の内蔵ハードディスクのデータはすべて消えてしまいます。

●カスタム再セットアップ

全領域を1パーティションにして再セットアップする

Dドライブを作成しないですべての領域をCドライブにして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。再セットアップ前のハードディスクのデータはすべて消えてしまいます。

参照

「購入したときと同じ状態にする」(次ページ)

✓チェック!!

Dドライブには絶対に大切なデータのバックアップはとらないでください。Dドライブにバックアップしたデータは標準再セットアップを行うと、すべて消去されてしまいます。

参照

「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(p.73)

■ Cドライブのみを再セットアップする

Cドライブの容量を変更しないで、Cドライブのみを再セットアップするときに、この方法で再セットアップします。Cドライブ以外のハードディスクのデータを残しておくことができます。

■ ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする (ユーザ設定)

FDISKコマンドを使って、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。Cドライブのハードディスク容量を変更したいときは、この方法で再セットアップします。

初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法では再セットアップしないでください。再セットアップ前の内蔵ハードディスクのデータはすべて消えてしまいます。



「Cドライブのみ再セットアップする」(p.76)



「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」(p.80)

購入したときと 同じ状態にする (標準再セットアップ)

「標準再セットアップ」を行うと、パソコンを購入時と同じ状態に戻すことができます。

Cドライブのハードディスク容量を変えたいときは、「カスタム再セットアップ」をご覧ください。

●標準再セットアップの手順

標準再セットアップは次の11項目の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。再セットアップを始めたら、途中でやめしないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. システムを再セットアップする(約50分～1時間10分)
6. Windows 98の設定をする(約10分)
7. ・Office 2000モデルのときは、Office 2000 Personalを再セットアップする(約30分)
・一太郎モデルのときは、Voice 一太郎10・花子10バックを再セットアップする(約30分)
・ジャストホームモデルのときは、Justsystem Homeを再セットアップする(約30分)
8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
10. 別売のアプリケーションをインストールし直す
11. バックアップしたデータを復元する

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ずMO、外付けハードディスクやCD-RW、フロッピーディスクなどにバックアップしてください。

✓チェック!!

再セットアップは中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。

✓チェック!!

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。



バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダが消えてしまってもいいように、CD-RWやフロッピーディスク、MOディスク、外付けハードディスクなどに複製したものをしておくことを「バックアップをとる」といいます。

Dドライブには大切なデータのバックアップはなるべくとらないでください。Dドライブにバックアップしたデータは、標準再セットアップを行うとすべて消去されてしまいます。

「バックアップCD-ROM」で再セットアップできるのは、このパソコンに購入時から入っていたソフトウェアだけです。購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。また、内蔵ハードディスクに保存されていたデータはすべて消えてしまいます。パソコンの万一の事態に備えて、データは予備を取っておくこと(バックアップ)をおすすめします。

Windows 98 を起動できるときは、大切なデータのバックアップを必ずとってから、再セットアップを行ってください。MOディスク、外付けハードディスクなどの記憶装置があると、フロッピーディスクに入りきれない大きなデータをまとめてバックアップをとることができるので便利です。

このパソコンには、簡単にバックアップを取ってあとから復元できる「バックアップ-NX」というアプリケーションがあります。「バックアップ-NX」を使えば、このパソコンに添付されているアプリケーションで作成されたデータのバックアップを取るように設定することもできます。また、ご購入した別売のアプリケーションで作成したデータのバックアップも取ることができます。詳しくは、「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「バックアップ-NX」をご覧ください。

2. インターネットなどの設定を控える

インターネットを使っているときは、インターネットのIDやアドレスなど、インターネット接続に必要な情報をメモしてください。

インターネットなどの設定は、再セットアップを行うとすべて消去されます。

インターネット接続時の設定をバックアップする

BIGLOBEに入会しているとき

すでにBIGLOBEに入会しているときは、「BIGLOBE かんたん設定ナビ」でインターネット接続の環境をフロッピーディスクやハードディスクにバックアップできます。詳しくは、「添付ソフトの使い方」『BIGLOBE かんたん設定ナビ』「接続環境をバックアップする」をご覧ください。

会員証があるときは、会員証を用意してください。インターネットの接続に必要な情報のうち、アクセスポイント以外の情報は会員証に記載されています。

入会してまだ会員証が届いていないときなど、会員証がないときは、『使っておぼえるパソコンの基本』の「付録 BIGLOBE入会案内」を参考にして、次の項目をメモしてください。

メモ

「Outlook Express 5」および「PostPet」のメールやアドレス帳のデータをバックアップするには、以下の手順にしたがってください。

1. 「バックアップ-NX」を起動します。(p.63)
2. 「バックアップするアプリケーション」にある「Outlook Express 5」および「PostPet」の  をクリックして ☒ (オン) にします。
3. 「開始」ボタンをクリックします。
4. 「閉じる」ボタンをクリックします。

チェック!

「バックアップデータを保存する場所」は、ご購入時には「D:¥」に設定されています。「購入時と同じ状態にする(標準再セットアップ)」ではDドライブのデータもすべて消去されてしまいます。その場合は、MOや外付けハードディスクなどにバックアップを取ってください。

チェック!

再セットアップしても、サインアップで得たインターネットのIDなどは無効にはなりません。必ず書き留めて、あとで設定し直してください。

メモ

「インターネット接続のバックアップ」でも、インターネット接続時の設定のバックアップや復元を行うことができます。

チェック!

受信したメールや「お気に入り」に登録したURLは、再セットアップを行うと消えてしまいます。必要場合は、メールやURLファイルのバックアップを「バックアップ-NX」でとっておいてください。

- ・ユーザー ID
- ・仮パスワード、または正式パスワード
- ・電子メールアドレス
- ・メールパスワード
- ・プライマリ DNS
- ・セカンダリ DNS
- ・インターネットメールサーバ
- ・ニュースサーバ
- ・設定したアクセスポイントの電話番号

BIGLOBE 以外のプロバイダに入会しているとき

「インターネット接続のバックアップ」を使うと、電話回線を使ってインターネットへ接続するときに設定する情報の一部をフロッピーディスクやハードディスクにバックアップできます。詳しくは、「サポートセンター」-「困ったときの Q&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「インターネット接続のバックアップ」をご覧ください。

3. 別売の周辺機器を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。

『はじめにお読みください』にしたがって、このパソコンに付属していた機器のみを接続した状態にしてください。

4. 必要なものを準備する

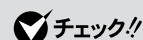
再セットアップの作業をはじめる前に、このパソコンに添付されている、次の CD-ROM、フロッピーディスクを準備してください。

- ・「バックアップ CD-ROM」
- ・「システムインストールディスク」
- ・Office 2000 モデルは、「Office 2000 Personal」CD-ROM
- ・一太郎モデルは、「Voice 一太郎 10・花子 10 パック CD-ROM」
- ・ジャストホームモデルは、「Justsystem Home セットアップディスク」CD-ROM

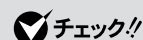
また、このパソコンの購入後に自分でインストールしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディスクが必要です。準備しておいたほうがいいでしょう。



「サポートセンター」-「困ったときの Q&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「インターネット接続のバックアップ」



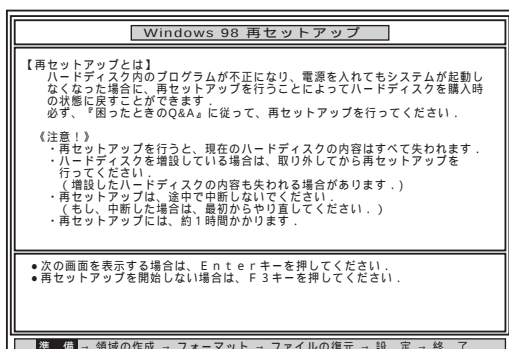
外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。



準備するものは、モデルによって異なります。再セットアップ中に表示される「再セットアップの準備」の画面で確認してすべて準備してください。

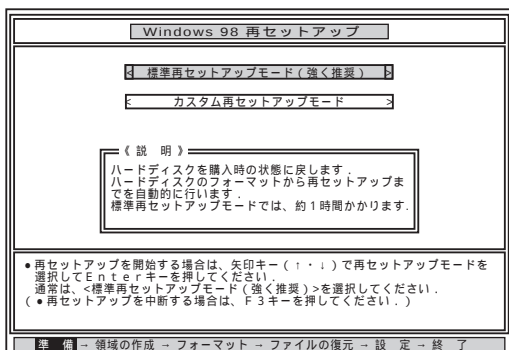
5. システムを再セットアップする

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットします。
次の画面が表示されます。



「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

- 3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(1枚目)」をセットします。
- 4 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 5 【Enter】キーを押します。



✓チェック!!

・ここに掲載されている画面は、モデルや設定によって、実際に表示される画面とは異なることがあります。

- ・再セットアップは、ハードディスクのCドライブの領域に対して行われます。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。
それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

・「Invalid system disk」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、【Enter】キーなどのキーを押してください。

✓チェック!!

CD-ROM が認識されずにエラーメッセージが表示された場合は、NEC フィールディングの各支店、営業所にご連絡ください。

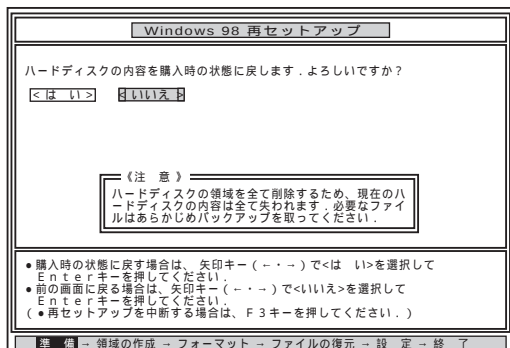
📖 参照

NEC お問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、「サポートセンタ」-「サービス&サポート」

6 「標準再セットアップモード(強く推奨)」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。

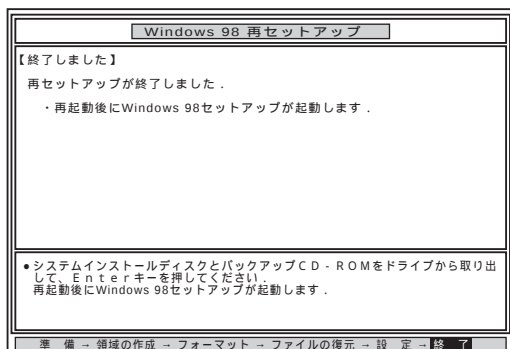
「標準再セットアップモード(強く推奨)」が黄色になっていないときは、【↑】キーを押して、黄色にしてから【Enter】キーを押してください。

「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。



7 「いいえ」が黄色になっているので、【←】キーを押して、「はい」を黄色にしてから【Enter】キーを押します。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約50分～1時間10分かかります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



8 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出します。

9 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

✓チェック!!

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。

再セットアップ中に数回ピープ音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

✓チェック!!

左の画面が表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。初めからやり直してください。

10 【Enter】キーを押します。

システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」ウィンドウが表示されます。



6.Windows 98 の設定をする

1 「Windows 98へようこそ」ウィンドウで、このパソコンを使う人の名前とふりがなをキーボードを使って入力します。

名前を入力しないと、次の手順に進めません。ふりがなは入力しなくても構いません。

ただし、ここで入力した名前、ふりがなは、再セットアップし直す以外に変更する方法はありません。

名前やふりがなは、ローマ字でも、漢字やカタカナでも構いません。

2 入力が終わったら「次へ」をクリックします。

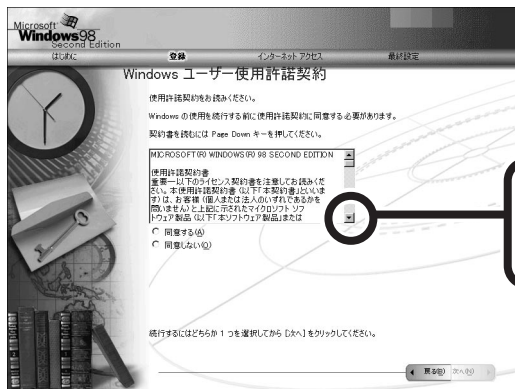
「モデムを使って接続する」ウィンドウが表示されます。

3 ここでは接続しないので、「スキップ」をクリックします。

「ダイヤルのキャンセル」ウィンドウが表示されます。

4 「はい」の ☒ をクリックして ☐ にし、「次へ」をクリックします。

「Windows ユーザー使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。



スクロールボタンをクリックするか、キーボードの【PgDn】キーを押すと、「使用許諾契約書」の下の方を読むことができます。

メモ

ここで行う操作は、はじめてこのパソコンを使ったときに行った『はじめにお読みください』の「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」と同じです。

メモ

間違って入力したときは【Back Space】キーを押すと、1文字ずつ消すことができます。

- 5 「同意する」の ☐ をクリックして ☒ (オン)にし、「次へ」をクリックします。

「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。



- 6 「完了」をクリックします。
Windows 98のデスクトップ画面が表示されます。
- 7 キーボードの【ランチ-NX】ボタンを押します。
アクティブメニュー-NXが表示されるまで、しばらくお待ちください。
- 8 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
- 9 「電源を切れる状態にする」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。
パソコンの電源が切れます。

✓チェック!!

「同意しない」をクリックすると、セットアップが中止するかどうか選択する画面が表示されます。中止したときは、再セットアップを最初からやり直してください。

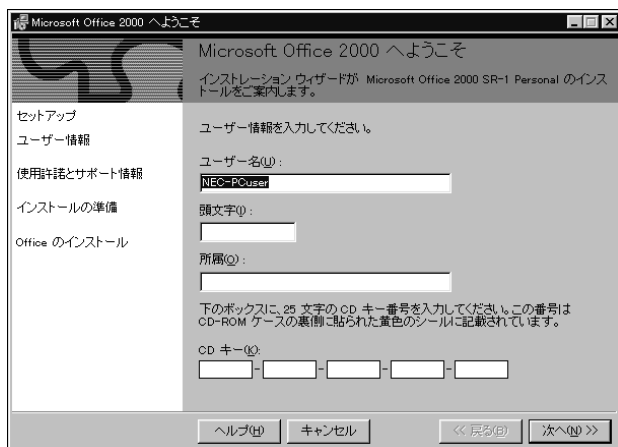
7. Office 2000 PersonalやVoice 一太郎 10・花子10パック、Justsystem Homeを再セットアップする

一太郎モデル、ジャストホームモデルの場合は、「一太郎モデルのとき」(p.67)、「ジャストホームモデルのとき」(p.69)をそれぞれ読んでください。

Office 2000モデルのとき

Office 2000 Personalのセットアップ

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 Office 2000 PersonalのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
しばらくすると、次の画面が表示されます。



- 3 「次へ」をクリックします。
「Microsoft Office 2000使用許諾とサポート情報」ウィンドウが表示されます。
- 4 使用許諾契約書をお読みになり、内容に同意の上、「使用許諾契約書」の条項に同意します」の  をクリックして  (オン)にし、「次へ」をクリックします。
「Microsoft Office 2000インストールの準備」ウィンドウが表示されます。
- 5  (カスタマイズ)をクリックします。
「Microsoft Office 2000インストール先」ウィンドウが表示されます。
- 6 インストール先に「c:\Program Files\Microsoft Office\」が指定されていることを確認して、「次へ」をクリックします。
「Microsoft Office 2000：機能の選択」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!!

必要であれば、ユーザ名の他、各項目を入力し直してください。なお、CDキー(Office 2000 PersonalのCD-ROMケースに貼付してあります。)をここで入力すると、Office 2000 Personalのアプリケーションを最初に起動したときにCDキーの入力作業が必要なくなります。

✓チェック!!

カスタム再セットアップでCドライブの領域が2Gバイト以下の場合は、Dドライブ以降にインストール先を指定することをおすすめします。モデルによってはCドライブに入りきらないことがあります。

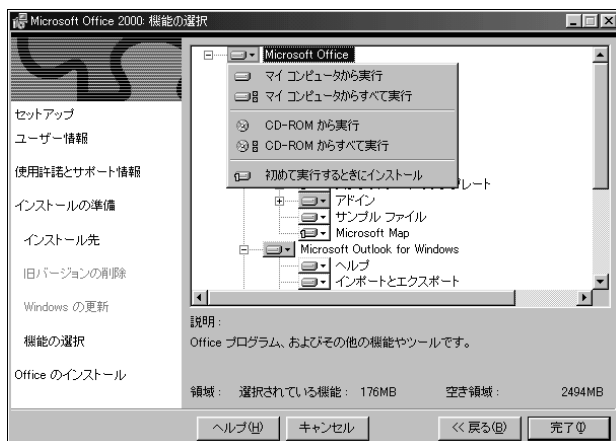
✓チェック!!

Dドライブにインストールした場合、ランチ-NXには、Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000は自動登録されません。

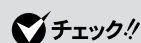
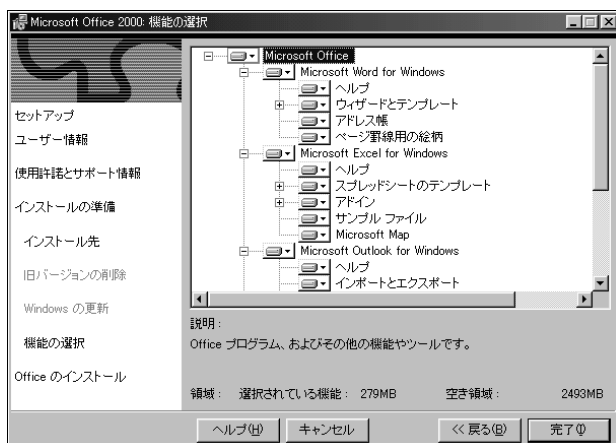
📖 参照

ランチ-NXを登録するには、→ 
「添付ソフトの使い方」・「ランチ-NX (アクティブメニュー NX)」

- 7 「Microsoft Office」をクリックします。
次のようにメニューが表示されます。



- 8 「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。
しばらくすると、次の画面が表示されます。



灰色で表示されたフォルダがないことを確認してください。灰色で表示されていないフォルダがあった場合は、7 の手順からやり直してください。

- 9 「完了」をクリックします。
Microsoft Office 2000のインストールが始まります。しばらくお待ちください。
しばらくすると、「インストーラ情報」ウィンドウが表示されます。

- 10 「はい」をクリックします。
パソコンが自動的に再起動します。再起動後、「IMEのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

- 11 「はい」をクリックします。
しばらくすると、「Microsoft IME 2000 セットアップ」ウィンドウが表示されます。
次の「MS-IME 2000のセットアップ」に進んでください。

MS-IME 2000 のセットアップ

- 1 「Microsoft IME 2000 セットアップ」ウィンドウで、「次へ」をクリックします。
「使用許諾契約書の確認」の画面が表示されます。
- 2 使用許諾契約書をお読みにになり、内容に同意の上、「使用許諾契約書」に同意します」の  をクリックして  (オン) にし、「次へ」をクリックします。
「ユーザ情報の登録」が表示されます。
- 3 「次へ」をクリックします。
「Microsoft IME 2000 インストールの準備が整いました」と表示されます。
- 4 「標準」が選択されているのを確認して、「次へ」をクリックします。
「インストールしますか？」と表示されます。
- 5 「インストール」をクリックします。
しばらくすると、「セットアップが完了しました」と表示されます。
- 6 「OK」をクリックします。
「Microsoft IME 2000 セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 7 「はい」をクリックします。
パソコンが自動的に再起動します。再起動後、「Microsoft IME 2000 へのユーザ情報の登録」ウィンドウが表示されます。
- 8 「登録しない」をクリックします。
「Microsoft IME 2000 日本語入力システム」ウィンドウが表示されます。
- 9  をクリックします。
- 10 CD-ROM ドライブから、Office 2000 Personal の CD-ROM を取り出します。
- 11 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
- 12 「電源を切れる状態にする」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。
パソコンの電源が切れます。

以上で Office 2000 Personal のセットアップは完了です。
次の「8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.71)に進んでください。

チェック!

「インストールを継続する場合は次のアプリケーションを閉じる必要があります」と表示された場合は、起動しているアプリケーションを終了して「再試行」をクリックしてください。

一太郎モデルのとき

Voice 一太郎 10・花子 10 パックのセットアップ

- 1 パソコンの電源を入れます。
- 2 「ランチ-NX」が起動している場合は、右上の  をクリックして閉じてください。
ランチ-NXが終了します。
- 3 CD-ROMドライブに「Voice一太郎10・花子10パックCD-ROM」をセットします。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
「JUSTSYSTEM AutoPlayプログラム」ウィンドウが表示されます。



- 4 「一太郎10・花子10パックのセットアップ」をクリックします。
セットアップ開始を確認するウィンドウが表示されます。
- 5 「セットアップ開始」をクリックします。
「使用許諾契約の確認」ウィンドウが表示されます。
- 6 「確認」をクリックします。
「Voice一太郎10・花子10パックのセットアップ」と表示されます。
- 7 「次へ」をクリックします。
「使用者名・法人名の登録」ウィンドウが表示されます。
- 8 「次へ」をクリックします。
「シリアルナンバー・User IDの登録」ウィンドウが表示されます。
- 9 一太郎10・花子10パックに同梱されているJ-Sheetをご覧の上、必要事項を入力して「次へ」をクリックします。
「使用者名・シリアルナンバーの確認」ウィンドウが表示されます。

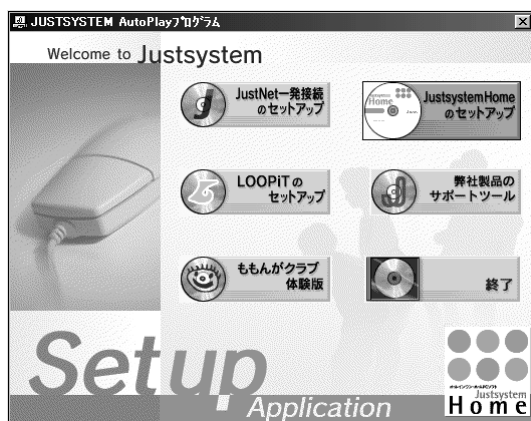
- 10** 正しく入力されていたら「登録する」をクリックします。
「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。
- 11** 「標準」が選択されていることを確認して「次へ」をクリックします。
「標準モードでセットアップすると...」と表示されます。
- 12** 「次へ」をクリックします。
「セットアップするフォルダを設定します」と表示されます。
- 13** 「次へ」をクリックします。
「ファイルのコピーを開始します」と表示されます。
- 14** 「コピー開始」をクリックします。
ファイルのコピーが始まります。しばらくお待ちください。
しばらくすると「インターネット接続方法の選択」ウィンドウが表示されます。
- 15** 「はい」を選択して「OK」をクリックします。
「ユーザ登録のご案内」ウィンドウが表示されます。
- 16** 「確認」をクリックします。
「Voice一太郎10・花子10パックのセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。
- 17** 「再起動」をクリックします。
パソコンが自動的に再起動します。
「ATOK13環境移行支援ツール」ウィンドウが表示されます。
- 18** 「終了」をクリックします。
CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出してください。
- 19** 「スタート」ボタンをクリックして、「Windowsの終了」をクリックし、
「電源を切れる状態にする」になっていることを確認して「OK」ボタンをクリックします。
パソコンの電源が切れます。

以上でVoice一太郎・花子10パックのセットアップは完了です。次の「8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.71)に進んでください。

ジャストホームモデルのとき

Justsystem Home を再セットアップする

- 1 パソコンの電源を入れます。
- 2 「Justsystem Home セットアップディスク」をCD-ROMドライブにセットします。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
「JUSTSYSTEM AutoPlayプログラム」ウィンドウが表示されます。

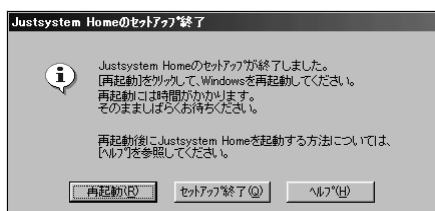


- 3 「Justsystem Homeのセットアップ」をクリックします。
「Justsystem Homeのセットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「セットアップ開始」をクリックします。
「使用許諾契約の確認」ウィンドウが表示されます。
- 5 「確認」をクリックします。
「Justsystem Homeのセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。
- 6 「次へ」をクリックします。
「使用者名の登録」ウィンドウが表示されます。
- 7 使用者名を入力して「次へ」をクリックします。
「シリアルナンバー・UserIDの登録」ウィンドウが表示されます。
- 8 シリアルナンバー・UserIDを入力して「次へ」をクリックします。
「使用者名・シリアルナンバーの確認」ウィンドウが表示されます。
- 9 正しく入力されていたら「登録する」をクリックします。
「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。
- 10 「自動」が選択されていることを確認して「次へ」をクリックします。
「自動でのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!!

「カスタム再セットアップ」の「ユーザ設定」でCドライブの残り領域が少ない場合、セットアップするフォルダとして自動的に「D:¥JUST」が選択されていることがあります。そのままDドライブにインストールすることをおすすめしますが、Dドライブにインストールした場合、ランチ-NXにはJustsystem Homeは自動登録されません。ランチ-NXに登録する場合は、「添付ソフトの使い方」-「ランチ-NX(アクティブメニュー NX)」をご覧ください。

- 11** 「次へ」をクリックします。
「イラスト&フォームの選択」ウィンドウが表示されます。
- 12** 「イラスト&フォームをすべてハードディスクで利用」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。
「セットアップするフォルダの設定」ウィンドウが表示されます。
- 13** 「C:\¥JUST」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。
「ファイルのコピーを開始：自動」と表示されます。
- 14** 「コピー開始」をクリックします。
ファイルのコピーが始まります。しばらくお待ちください。
ファイルのコピーが終了すると、「JustNetに入会するには」ウィンドウが表示されます。
- 15** 「確認」をクリックします。
「ガイドメニューの設定」ウィンドウが表示されます。
- 16** 「いいえ」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。
「Justsystem Homeのセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。



- 17** 「再起動」をクリックします。
「Justsystem Home」ウィンドウが表示されます。
- 18** 「OK」をクリックします。
Windowsが自動的に再起動します。
- 19** 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
- 20** 「Jshome(Q:)」アイコンを右クリックします。
- 21** 表示された一覧から「開く」をクリックします。
- 22** 「ガイドメニュー」フォルダをダブルクリックします。
- 23** 「Jshome001」をダブルクリックします。
「質問」が表示されます。
- 24** 「はい」をクリックします。
「情報」が表示されます。
- 25** 「OK」をクリックします。
- 26** 「Jshmg002」をダブルクリックします。
「質問」が表示されます。

- 27 「はい」をクリックします。
「情報」が表示されます。
- 28 「OK」をクリックします。
- 29 「Jshmg003」をダブルクリックします。
「質問」が表示されます。
- 30 「はい」をクリックします。
「情報」が表示されます。
- 31 「OK」をクリックします。
- 32 Justsystem Homeを起動します。
- 33 ガイドメニューの「設定」をクリックします。
「設定」が表示されます。
- 34 「ガイドメニューのデザイン」プルダウンメニューから「オリジナル」をクリックします。
- 35 「OK」をクリックします。
- 36 ガイドメニューの「閉じる」をクリックします。
CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出してください。
- 37 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
- 38 「電源を切れる状態にする」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。
パソコンの電源が切れます。

以上で Justsystem Home のセットアップは完了です。
次の「8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」に進んでください。

8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す

「3. 別売の周辺機器を取り外す (p.59) で取りはずした別売の周辺機器を取り付けて、それぞれのセットアップや設定を行ってください。



参照

周辺機器の設定→周辺機器のマニュアル、『もっと知りたいパソコン』の「PART2 機器を取り付ける前に」

9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す

パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべて購入時の状態になっているので、設定し直してください。

インターネットを使っているときは、「2. インターネットなどの設定を控える」(p.58)でバックアップしたデータを復元したり、あらかじめとっておいた設定や控えたメモの設定に戻してください。

IDやアドレスはすでに取得しているものを使えます。サインアップをやり直す必要はありません。

10. 別売のアプリケーションをインストールし直す

パソコン購入後にインストールしたアプリケーションも消去されているので、インストールし直してください。

11. バックアップしたデータを復元する

「1. バックアップをとる」(p.57)でバックアップしたアプリケーションのデータを復元してください。手順については、「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「バックアップ-NX」をご覧ください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする (カスタム再セットアップ)

ハードディスクの領域を1つのドライブとして作成したいときは、ここをご覧ください。

ハードディスクの領域を1つのドライブとして作成したいときは、この方法で行います。

●「全領域を1パーティションにして再セットアップ」の手順

次の11項目の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめしないで、必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. システムを再セットアップする(約50分～1時間10分)
6. Windows 98 の設定をする(約10分)
7. ・Office 2000モデルのときは、Office 2000 Personalを再セットアップする(約30分)
・一太郎モデルのときは、Voice一太郎10・花子10パックを再セットアップする(約30分)
・ジャストホームモデルのときは、Jystsystem Homeを再セットアップする(約30分)
8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
10. 別売のアプリケーションをインストールし直す
11. バックアップしたデータを復元する

✓チェック!!

この方法では、システムやアプリケーション、データもすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。

✓チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは最初からやり直してください。

✓チェック!!

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ずMO、外付けハードディスクやCD-RW、フロッピーディスクなどにバックアップしてください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「1. バックアップをとる」(p.57)をご覧ください、データのバックアップをとってください。

ハードディスクのデータはすべて、再セットアップによって消去されますので、必要なデータは必ずバックアップをとってください。

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2. インターネットなどの設定を控える」(p.58)をご覧ください、必要な情報を控えてください。

3. 別売の周辺機器を取り外す

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「3. 別売の周辺機器を取り外す」(p.59)をご覧ください、別売の周辺機器を取りはずしてください。

4. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「4. 必要なものを準備する」(p.59)をご覧ください、再セットアップに必要なものを準備してください。

5. システムを再セットアップする

1 パソコン本体の電源を入れます。

2 電源ランプがついたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットします。

「再セットアップとは」の画面が表示されます。

3 【Enter】キーを押します。

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】キーを押します。

再セットアップモードを選ぶ画面が表示されます。

✓チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

✓チェック!!

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合はディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

- 5** 【↓】キーを1回押して、「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください。)
カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。
- 6** 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」が黄色になっていることを確認して、【Enter】キーを押します。
「ハードディスクの領域を下記の様に設定し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。
- 7** CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットしてください。
- 8** 【←】キーを1回押して「はい」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【←】キーを押しすぎたときは【→】キーを押して戻してください。)
「ハードディスクの領域確保中です。」と表示されます。
ハードディスクの領域確保とシステムの再セットアップが始まります。種類、モデルによって異なりますが、約50分～1時間10分かかります。
途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。
システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。
- 9** フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出します。
- 10** CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。
- 11** 【Enter】キーを押します。
パソコンが再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」が表示されます。
- 12** これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする (p.62)」に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする (p.62)」に進んでください。

✓チェック!

ハードディスクの領域の確保とシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。

再セットアップ中に数回ビーブ音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください(再セットアップは正しく進んでいます)。

✓チェック!

再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする (p.62)」以降の操作を行ってください。

Cドライブのみ 再セットアップする (カスタム再セットアップ)

Cドライブのみを再セットアップします。Dドライブ以降のデータはそのままなので、Cドライブだけを再セットアップしたい場合にこの方法で再セットアップしてください。ただし、この方法では、Cドライブの容量を変えることはできません。

●「Cドライブのみを再セットアップ」の手順

次の11項目の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめしないで、必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. システムを再セットアップする(約 50 分 ~ 1 時間 10 分)
6. Windows 98 の設定をする(約 10 分)
7. ・Office 2000 モデルのときは、Office 2000 Personalを再セットアップする(約 30 分)
・一太郎モデルのときは、Voice一太郎10・花子10パックを再セットアップする(約 30 分)
・ジャストホームモデルのときは、Justsystem Homeを再セットアップする(約 30 分)
8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
10. 別売のアプリケーションをインストールし直す
11. バックアップしたデータを復元する

✔チェック!!

Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要な場合があります。アプリケーションがうまく動作しないときは、再セットアップ後に、アプリケーションもインストールし直してください。

✔チェック!!

この方法では、Cドライブにあるシステムやアプリケーション、データはすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。

✔チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときはもう一度最初からやり直してください。

✔チェック!!

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ずMO、外付けハードディスクやCD-RW、フロッピーディスクなどにバックアップしてください。

Cドライブのデータは、再セットアップによってすべて消去されてしまいます。「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「1. バックアップをとる」(p.57)をご覧ください、データのバックアップをとってください。

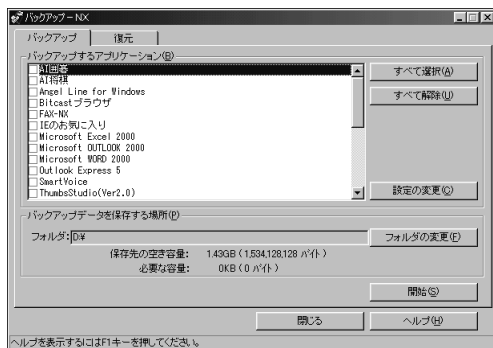
また、「Cドライブのみ再セットアップする」の手順で再セットアップする場合は、Cドライブに保存されていたデータを、Dドライブにコピーして、一時的に退避させることが可能です。

Dドライブにバックアップしたいデータをコピーする

MOドライブなどの別売の周辺機器が接続されていない場合や、データがフロッピーディスクでは入りきらない大容量の場合、バックアップしたいデータを一時的にDドライブにコピーして、再セットアップを行うことができます。ただし、この方法が使えるのは、カスタム再セットアップの「Cドライブのみ再セットアップする」を選択した場合のみです。それ以外の再セットアップの手順を行うとDドライブはフォーマットされてコピーしたデータはすべて消去されてしまいますので、十分注意してください。ここでは、例として、Dドライブに「バックアップ-NX」でコピーする方法を説明します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「アプリケーション」→「バックアップ-NX」の順にクリックします。
- 2 「バックアップする」が  (オン) になっていることを確認して「OK」ボタンをクリックします。

「バックアップ-NX」ウィンドウが起動します。



参照

バックアップの取り方 → 「サポートセンタ」 「困ったときのQ & A」 「トラブルの予防」 「予防のためのツール」 「バックアップ-NX」

チェック!!

- ・バックアップ-NXを使ってDドライブにコピーできるのは、文書や表計算などのデータファイルのみです。
- ・Dドライブへのデータのコピーは一時的なものです。再セットアップ完了後、必ず別の媒体(フロッピーディスクなど)にバックアップを取るようにしてください。
- ・Dドライブにアプリケーションをコピーしても、バックアップを取ったことにはなりません。アプリケーションはCドライブを再セットアップ後、再インストールしてください。アプリケーションをDドライブにインストールして、「Cドライブのみ再セットアップする」を選択しても多くの場合、正常には動作しません。

メモ

アプリケーションのデータの保存先を初期設定から変更していたり、同じフォルダの中の一部のデータだけをバックアップしたい場合などは、「設定の変更」ボタンをクリックして、画面の指示にしたがい、保存先を指定してください。

3 「バックアップするアプリケーション」一覧から、データをバックアップするアプリケーションを選びます。

4 「バックアップデータを保存する場所」を指定します。「D:¥ (Dドライブ)」が選択されている(標準の状態)を確認して「開始」ボタンをクリックします。

バックアップが始まります。バックアップが終了すると、「バックアップは正常に終了しました」と表示されます。

5 「閉じる」ボタンをクリックします。

6 「バックアップ-NX」ウィンドウで、「閉じる」ボタンをクリックします。これでバックアップは完了です。

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2. インターネットなどの設定を控える (p.58)」をご覧ください、必要な情報を控えてください。

3. 別売の周辺機器を取り外す

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「3. 別売の周辺機器を取り外す (p.59)」をご覧ください、別売りの周辺機器を取りはずしてください。

4. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「4. 必要なものを準備する (p.59)」をご覧ください、再セットアップに必要なものを準備してください。

5. システムを再セットアップする

1 パソコン本体の電源を入れます。

2 電源ランプがついたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットします。
「再セットアップとは」の画面が表示されます。

3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】キーを押します。
再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。

5 【↓】キーを1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押すときは【↑】キーを押して戻してください。) カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

メモ

「バックアップ-NX」でバックアップできるのはすべてのデータではありません。詳しくは「バックアップ-NX」のヘルプをご覧ください。

チェック!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

メモ

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。
その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

6 【↓】キーを1回押して「Cドライブのみ再セットアップ」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。

(【↓】キーを押しすぎたときは【↑】キーを押して戻してください。)
「Cドライブの内容を消去し、ファイルを購入時の状態に戻します。
よろしいですか?」と表示されます。

7 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットします。

8 【←】キーを1回押して「はい」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。

(【←】キーを押しすぎたときは、【→】キーを押して戻してください。)

システムの再セットアップが始まります。種類、モデルによって異なりますが、約50分～1時間10分かかります。

途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。

システムの再セットアップが終わると「終了しました」の画面が表示されます。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出します。

10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

11 【Enter】キーを押します。

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。

12 これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.62)に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.62)に進んでください。

✓チェック!!

ハードディスクのフォーマットとシステムの復元中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。

✓チェック!!

再セットアップ中に数回ビーブ音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

✓チェック!!

再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず、「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.62)以降の操作を行ってください。

ハードディスクの 領域を自由に設定して 再セットアップする (カスタム再セットアップ)

Cドライブのハードディスク領域を自由に変えたいときは、ユーザ設定で行います。初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法で再セットアップしないでください。

●ユーザ設定の手順

ユーザ設定は次の15項目の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたら途中でやめしないでください。必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. 領域を削除する(約5分)
6. 領域を作成する(約5分)
7. ドライブを初期化(フォーマット)する(約5～20分)
8. システムを再セットアップする(約50分～1時間10分)
9. Windows 98の設定をする(約10分)
10. ・Office 2000モデルのときは、Office 2000 Personalを再セットアップする(約30分)
・一太郎モデルのときは、Voice一太郎10・花子10パックを再セットアップする(約30分)
・ジャストホームモデルのときは、Justsystem Homeを再セットアップする(約30分)
11. フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする
12. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
13. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
14. 別売のアプリケーションをインストールし直す
15. バックアップしたデータを復元する

✓チェック!!

ここに掲載されている画面は、機種によって、実際に表示される画面と異なることがあります。

✓チェック!!

ハードディスクの領域を削除すると、その領域のシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。領域を削除する前に、必ずバックアップをとってください。

✓チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。

✓チェック!!

ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。「マイコンピュータ」でハードディスクドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字に入力し直るか、ボリュームラベルを削除してください。

✓チェック!!

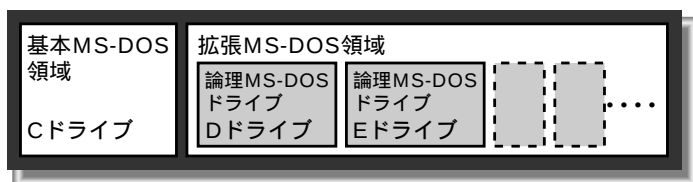
再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域

カスタム再セットアップでは、カスタム再セットアップの画面からFDISKというコマンドを実行して、まずハードディスクの領域を削除し、次に領域を好みの容量にして作り直します。

ハードディスクを基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域に分け、さらに、拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに分けます。このうち、基本MS-DOS領域がCドライブ(Windows 98を起動するドライブ)になり、論理MS-DOSドライブがD以降のドライブになります。

・ハードディスクの領域



領域の削除は、論理MS-DOSドライブ→拡張MS-DOS領域→基本MS-DOS領域の順に削除してください。領域の作成は、逆に基本MS-DOS領域→拡張MS-DOS領域→論理MS-DOSドライブの順で作成してください。

領域を作ったあと、カスタム再セットアップの画面からFORMATコマンドを実行してそれぞれのドライブをフォーマットします。

FAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステム

このパソコンはご購入時の状態では、FAT32ファイルシステムとよばれるファイルの管理方法を使って次のようにハードディスクが領域作成されています。

Cドライブ ハードディスクの全領域から2Gバイトを引いた容量

Dドライブ 約2Gバイト

*モデルによってCドライブの領域は異なります。

ハードディスクの管理方法にはFAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステムの2つがあります。Windows 98ではどちらでも利用できますが、FAT16ファイルシステムのハードディスクの最大領域は2,047Mバイトまでですので、このパソコンで、基本MS-DOS領域をFAT16にして再セットアップすると、領域が足りなくなる場合があります。

用語

基本MS-DOS領域

起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows 98をインストールします。1つのハードディスクに1つしか作成できません。

拡張MS-DOS領域

基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここから起動することはできません。1つのハードディスクに1つしか作成できません。この中に論理MS-DOSドライブ(Dドライブ以降のドライブ)を割り当てます。

論理MS-DOSドライブ

拡張MS-DOS領域の中に作ります。Dドライブ以降の複数のドライブを作成することができます。

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ず MO や CD-RW、外付けハードディスク、フロッピーディスクなどにバックアップしてください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「1. バックアップをとる」(p.57)をご覧ください。データのバックアップをとってください。すべてのハードディスクのデータは、再セットアップによって消去されますので、必要なデータは必ずバックアップをとってください。

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2. インターネットなどの設定を控える」(p.58)をご覧ください。必要な情報を控えてください。

3. 別売の周辺機器を取り外す

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「3. 別売の周辺機器を取り外す」(p.59)をご覧ください。別売の周辺機器を取り外してください。

4. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「4. 必要なものを準備する」(p.59)をご覧ください。再セットアップに必要なものを準備してください。

5. 領域を削除する

ハードディスクの領域を削除します。

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットします。
「再セットアップとは」の画面が表示されます。
- 3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 4 【Enter】キーを押します。
再セットアップモードを選ぶ画面が表示されます。

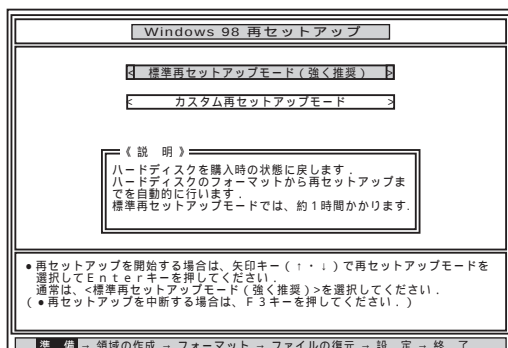
✓チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

メモ

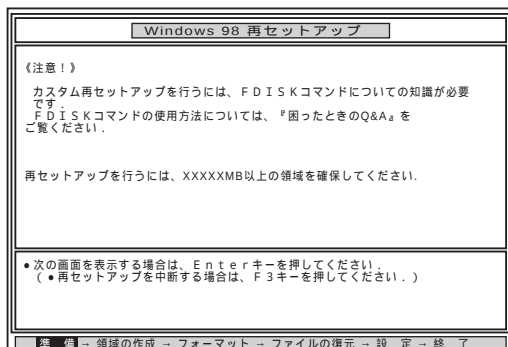
「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順 1 からやり直してください。

「Invalid system disk」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、【Enter】キーなどのキーを押してください。

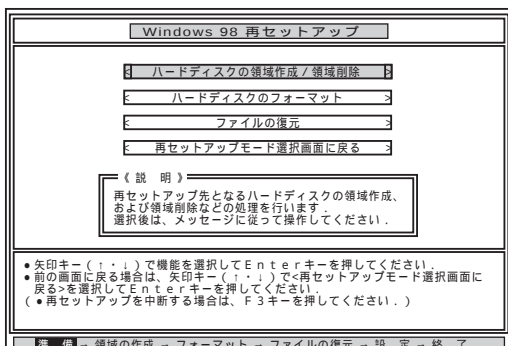


- 5 【↓】キーを1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】キーを押します(【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください)。
カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

- 6 【↓】キーを2回押して「ユーザ設定」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください。)
「注意！」の画面が表示されます。



- 7 【Enter】キーを押します。
次の画面が表示されます。



✓チェック!!

カスタム再セットアップを中止するときは【F3】キーを押してください。

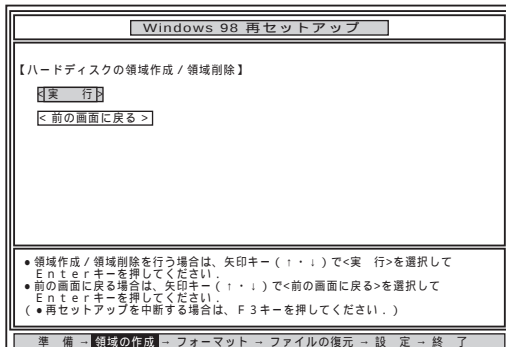
✓チェック!!

再セットアップに必要なハードディスクの容量が表示されますので、お使いのモデルに合った容量を控えておいてください。

8 「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。

「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」が黄色になっていないときは、【↑】キーを押して、黄色にしてから【Enter】キーを押してください。

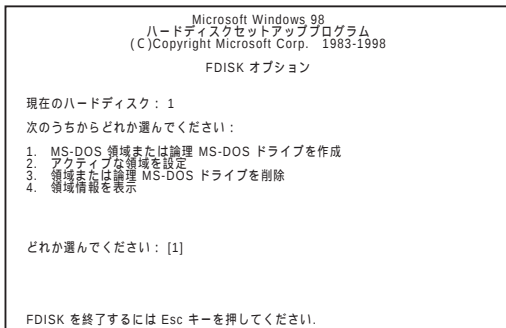
「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」の画面が表示されます。



9 「実行」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。

「実行」が黄色になっていないときは、【↑】キーを押して黄色にしてから【Enter】キーを押してください。

「FDISK オプション」の画面が表示されます。



ハードディスクに基本MS-DOS領域しかないとき(Cドライブのみの場合)は、「基本MS-DOS領域を削除する」(p.86)に進んでください。

ハードディスクに論理MS-DOSドライブ、および拡張MS-DOS領域があるときは、次の「論理MS-DOSドライブを削除する」に進んでください。

●論理 MS-DOS ドライブを削除する

- 10 【3】キー(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、
【Enter】キーを押します。
- 11 【3】キー(拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除)を押して、
【Enter】キーを押します。
ドライブの一覧が表示され、「どのドライブを削除しますか」と表示
されます。
- 12 削除するドライブのキーを押して(Dドライブを削除するときは【D】
キーを押す)【Enter】キーを押します。
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。
- 13 削除する領域にボリュームラベル(ドライブの名前)がつけられてい
るときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】キーを押します。
削除する領域にボリュームラベルがつけられていないときは、そのま
ま【Enter】キーを押します。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 14 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました。」と表示
されます。
- 15 残りのドライブがあるときは残りのドライブもすべて12～14の手
順で削除します。
すべてのドライブが削除されると「拡張 MS-DOS 領域の論理ドライ
ブはすべて削除されました。」と表示されます。
- 16 【Esc】キーを押します。
「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除
されました。」と表示されます。
- 17 【Esc】キーを押します。
「FDISK オプション」の画面が表示されます。

●拡張 MS-DOS 領域を削除する

- 18 【3】キー(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、
【Enter】キーを押します。
- 19 【2】キー(拡張MS-DOS領域を削除)を押して、【Enter】キーを押します。
「削除した拡張MS-DOS領域のデータはなくなります。続けますか
(Y/N)」と表示されます。
- 20 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
「拡張 MS-DOS 領域を削除しました。」と表示されます。
- 21 【Esc】キーを押します。
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

●基本 MS-DOS 領域を削除する

22 【3】領域または論理 MS-DOS ドライブを削除)キーを押して、
【Enter】キーを押します。

23 【1】基本MS-DOS領域を削除)キーを押して、【Enter】キーを押しま
す。

現在のハードディスクの状態が表示され、「削除した基本 MS-DOS
領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示
されます。

24 【1】になっているのを確認して、【Enter】キーを押します。
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

25 「WINDOWS98」と入力して、【Enter】キーを押します。
別のボリュームラベルがつけられているときはその名前を入力しま
す。ボリュームラベルがつけられていないときはなにも入力しないで
そのまま【Enter】キーを押します。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。

26 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
「基本 MS-DOS 領域を削除しました。」と表示されます。

27 【Esc】キーを押します。
「FDISK オプション」の画面が表示されます。

次の「6.領域を作成する」に進んでください。

6. 領域を作成する

領域を削除したら、新しく領域を作成してください。削除した領域の容量を合計した範囲内で、新しい領域を確保します。

・領域の分け方の例

15Gバイトのハードディスクで、基本MS-DOS領域を5Gバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域を9Gバイト、約1Gバイトの論理MS-DOSドライブにする。



●基本 MS-DOS 領域を作成する

1 「FDISK オプション」の画面で、「どれか選んでください:」の右に「1」(MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成)が表示されるので、【Enter】キーを押します。

2 「どれか選んでください:」の右に「1 (基本 MS-DOS 領域を作成)」が表示されているので、【Enter】キーを押します。

ドライブがチェックされたあと、「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますが(同時にその領域をアクティブにします Y/N)」と表示されます。

(a)最大サイズの領域を作成したいとき

ハードディスクの領域を分けずに一つの領域にする場合には、次の操作をしてください。

(1)【Y】になっているのを確認して、【Enter】キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブは、FAT32です。」と表示されます。

(2)【Esc】キーを押します。

「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されます。

(3)【Esc】キーを押します。

「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示されたときは、【→】キーを1回押して<いいえ>を選んで、【Enter】キーを押してください。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。

(4)【Enter】キーを押します。

パソコンが自動的に再起動します。

「Windows 98再セットアップ」の画面が表示されます。

これで領域は作成されました。「7. ドライブを初期化(フォーマット)する」(p.87)に進んでください。

(b)サイズを指定して領域を作成したいとき

(1)【N】キーを押し、【Enter】キーを押します。

ドライブがチェックされたあと、「領域のサイズをMバイトが全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります」と表示されます。

(2) 必要な空き容量(p.83)以上の数値(領域のサイズ、Mバイト単位)を入力して、【Enter】キーを押します。

たとえば、15Gバイトのモデルで4095Mバイトの領域を確保するときは、【4】【0】【9】【5】【Enter】の順にキーを押します(全体に対する割合で入力することもできます。たとえば、15Gバイトモデルで4Gバイトの領域を確保するときは、【2】【7】【%】【Enter】の順にキーを押します)。

(3)【Esc】キーを押します。

「FDISKオプション」の画面に戻ります。

(4)【2】キー(アクティブな領域を設定)を押し、【Enter】キーを押します。

「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されます。

(5)【1】キーを押して、【Enter】キーを押します。

「領域1がアクティブになりました。」と表示されます。

(6)【Esc】キーを押します。

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張 MS-DOS 領域と論理 MS-DOS ドライブを作成します。

チェック!

- ・作成するハードディスクの容量は、p.83で控えた容量以上の領域で作成してください。
- ・「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示された場合(指定した領域が512 ~ 2047 M バイトの場合)は、FAT32にするときはNを選択して、【Enter】キーを押してください。
- ・「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示されたときは、【Esc】キーを押します。自動的にFAT32に設定されます。

● 拡張 MS-DOS 領域を作成する

- 3 「どれか選んでください:」の右に「1 (MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)」が表示されているのを確認し、【Enter】キーを押します。
- 4 【2】キー(拡張MS-DOS領域を作成)を押し、【Enter】キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張MS-DOS領域を作り出す」と表示され、残っている領域のサイズが表示されます。
- 5 そのまま【Enter】キーを押します。
「拡張MS-DOS領域を作成しました。」と表示されます。
- 6 【Esc】キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。」と表示されます。

● 論理 MS-DOS ドライブを割り当てる

- 7 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てたいときは、そのまま【Enter】キーを押します。
サイズを指定するときは、数字を入力して【Enter】キーを押します。
 - ・ 指定したサイズが 2,048M バイト以上の場合
「ドライブのサイズが2,048Mバイト以上あります。このドライブは FAT32 です。」と表示され、自動的に FAT32 に設定されます。
【Esc】キーを押します。
 - ・ 指定したサイズが 2,047M バイト以下の場合
「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか」と表示されます。FAT16 で利用する場合は【Y】キーを、FAT32 で利用する場合は【N】キーを押します。

割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。

手順 7 をくりかえして、すべての拡張 MS-DOS 領域を論理 MS-DOS ドライブに割り当ててください。

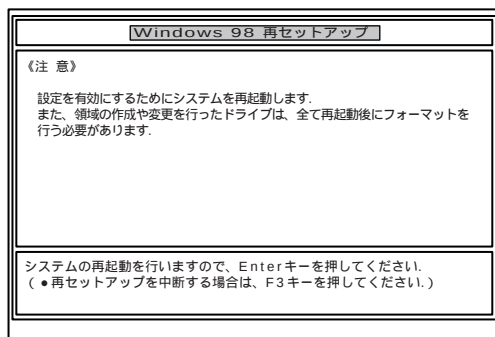
- 8 すべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられます」と表示されるので、【Esc】キーを押します。
「FDISKオプション」の画面に戻ります。

9 【Esc】キーを押します。

「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されます。

10 【Esc】キーを押します。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します。」と表示されます。



11 【Enter】キーを押します。

パソコンが自動的に再起動します。

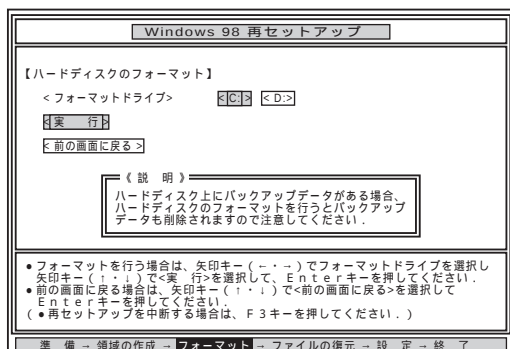
「Windows 98 再セットアップ」の画面が表示されます。

これで領域は作成されました。次の「7. ドライブを初期化(フォーマット)する」に進んでください。

7. ドライブを初期化(フォーマット)する

新しく作成した領域は、フォーマットする必要があります。

- 1 【↓】キーを1回押して「ハードディスクのフォーマット」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押すすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください)



- 2 「C:」が黄色になっているので、【Enter】キーを押します(【→】キーを押すすぎたときは、【←】キーを押して戻してください)。
「注意: ドライブC:のハードディスクのデータはすべてなくなり、フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されます。
- 3 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
フォーマットが始まります。作成した領域の大きさにもよりますが、5分~20分ほどかかります。
フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。
- 4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】キーを押します。必要がなければ、【Enter】キーだけを押しします。
ボリュームラベルは、半角英数字で11文字まで入力できます。
「Windows 98 再セットアップ」の画面に戻ります。

新しく領域を作成したドライブはすべて、手順1~4をくりかえして、フォーマットしてください(手順2のドライブ名は、【→】キーを押して選んでください)。

ハードディスクドライブを5つ以上に分割(Gドライブ以上作成)すると、これ以降のドライブ(G,H,I...)は手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることはできません。

G以降のドライブについては、「11. フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする」(p.93)でフォーマットします。

次の「8. システムを再セットアップする」に進んでください。

メモ

ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。あとで「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選ぶと全般シートで入力、変更することができます。

チェック!

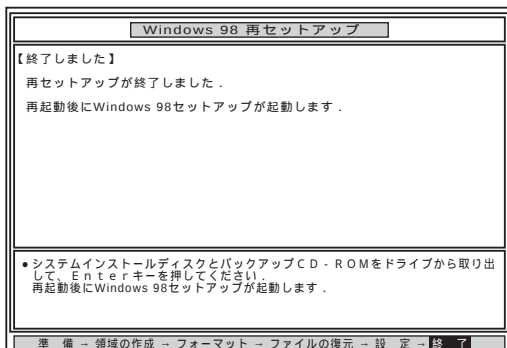
「システムインストールディスク(起動用)」はフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

8 システムを再セットアップする

- 1 「バックアップCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 「Windows 98 再セットアップ」の画面で【↓】キーを2回押して「ファイルの復元」が黄色になったら、【Enter】キーを押します(【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください)。
- 3 「ファイルの復元」の画面が表示されたら、「実行」が選ばれていることを確認して、【Enter】キーを押します。

システムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約50分～1時間10分かかります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



- 4 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出します。
- 5 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。
- 6 【Enter】キーを押します。
パソコンが再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」ウィンドウが表示されます。



✓チェック!!

「バックアップCD-ROMを復元します」と表示されたときは、バックアップCD-ROMがセットされていません。正しくセットして【Enter】キーを押してください。

✓チェック!!

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMや、フロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。

✓チェック!!

再セットアップ中に数回ビーというピープ音が鳴りますが、問題ないので無視してください。

9 .Windows 98 の設定をする

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98 の設定をする」(p.62)をご覧ください、Windows 98 の設定をしてください。

10 .Office 2000 PersonalやVoice 一太郎 10・花子 10 パック、Justsystem Home を再セットアップする

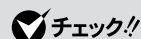
「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「7.Office 2000 PersonalやVoice 一太郎 10・花子 10 パック、Justsystem Home を再セットアップする」(p.64)をご覧ください、Office 2000 PersonalやVoice 一太郎 10・花子 10 パック、Justsystem Home を再セットアップしてください。

11 .フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする

ハードディスクドライブを5つ以上に分割した場合(Gドライブ以上作成)は、Gドライブ以降のドライブ(「7.ドライブを初期化(フォーマット)する」でフォーマットできなかったドライブ)を次の手順によりフォーマットしてください。

C~Fドライブまでしか作成していない場合は、以下の手順は必要ありません。「8.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.71)に進んでください。

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
パソコンが起動します。
- 2 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 フォーマットするハードディスクドライブ(G、H、I、...)のアイコンを右クリックし、表示されたメニューで「フォーマット」をクリックします。
「フォーマット」ウィンドウが表示されます。
- 4 「通常のフォーマット」をクリックします。
- 5 「開始」ボタンをクリックします。
フォーマットの確認画面が表示されます。
- 6 「OK」ボタンをクリックします。
しばらくするとフォーマットが終了し、フォーマットの結果が表示されます。



チェック!!

C ~ F のドライブはフォーマットしないでください。



スキャンディスクは、ハードディスクに壊れている部分がないか、問題なく使えるかをチェックするものです。破損している部分が見つかった場合には、自動的にその部分を使わないように設定します。



参照

スキャンディスクの操作 → 「スキャンディスクを使う」(p.8)  「サポートセンタ」 「困ったときのQ&A」 「トラブルの予防」 「予防のためのツール」 「スキャンディスク」

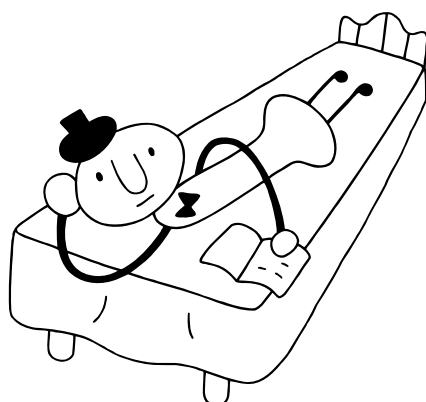
- 7** 「閉じる」ボタンをクリックします。
スキャンディスクの実行を促す画面が表示されます。
- 8** 「OK」ボタンをクリックします。
スキャンディスクのヘルプ(「クラスタ、ファイルおよびフォルダのエラーを検査するには」)が表示されます。
- 9** 「フォーマット」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。
- 10** ヘルプの内容にしたがってスキャンディスクを実行します。
フォーマットできなかったハードディスクドライブが他にもある場合は、手順3～10をくりかえしてフォーマットしてください。
- 11** これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「購入したときと同じ状態にする」の「8.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.71)に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「8.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.71)に進んでください。

チェック!!

再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず、「購入したときと同じ状態にする」の「8.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.71)以降の操作を行ってください。

付 録



添付品の修復、再入手、 交換、補修用性能部品

消耗品

フロッピーディスクとCD-ROMは、有料で修復または再入手することができます。

フロッピーディスクとCD-ROMは消耗品です。

消耗品とは、使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても有料です。

 参照

フロッピーディスクの修復、CD-ROMの再入手→『NEC PC あんしんサポートガイド』、 「サポートセンター」-「サービス&サポート」

消耗部品

ハードディスク、ディスプレイ、キーボード、マウス、フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブ、電源ユニット、CPUのファンは、消耗部品(有償交換部品)です。使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩擦、劣化し、修理再生が不可能な部品です。NECフィールドイングの各支店、営業所などで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

譲渡、廃棄、改造について

この製品を譲渡するには

この製品を第三者に譲渡する場合は、所定の条例にしたがってください。
また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きにしたがって、「正規登録ユーザ(98OFFICIAL PASS メンバー)」への登録を行ってください。

●譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)される場合は以下の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)

第三者に譲渡(売却)される製品を「正規登録ユーザ(98OFFICIAL PASSメンバー)」に登録されている場合は、98OFFICIAL PASS登録センター(TEL:042-333-5516)までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いします。

●譲渡を受けるお客様へ

「正規登録ユーザ(98OFFICIAL PASS メンバー)」への登録に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でお送りください。

ただし、「98OFFICIAL PASSお客様登録申込書」が未使用で残っている場合は、その「98OFFICIAL PASS お客様登録申込書」で登録してください。

記載内容

1. 本体型名および保証書番号(本体背面または底面に記載の型名および製造番号)
2. 以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号
3. あなたの氏名、住所、電話番号

宛先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社)

NEC 98OFFICIAL PASS 登録センター係

「正規登録ユーザ(98OFFICIAL PASSメンバー)」への登録方法については、『お客様登録ガイド』をご覧ください。

✓チェック!!

パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。

この製品を廃棄するには

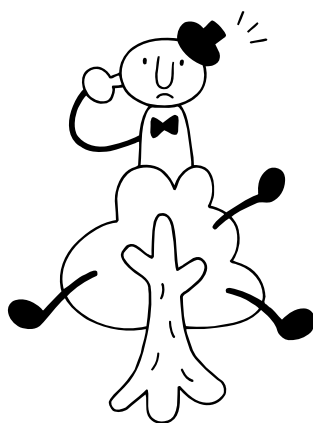
この製品を廃棄するときは、地方自治体の条例にしたがって処理してください。くわしくは、地方自治体にお問い合わせください。

このパソコンの改造

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。

記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

索引



英字

BIOSセットアップメニュー	47
CD-ROM	48,96
CyberTrio-NX	10
FDISKコマンド	26
Invalid system disk	25
Microsoft Windows 98 Startup Menu	24
MS-DOSプロンプト	45
Non-system disk or disk error	27
Operating System not found	26
Safe モード	12
VirusScan	46
Windows 98起動ディスク	17
Windowsの強制終了	30

あ行

アドバンスモード	10,11
アプリケーション	5,35
アプリケーションの強制終了	30
アプリケーションのデータをバックアップ	3
アプリケーションのデータを復元	3
インストーラ-NX	36
インストール	36
インターネット接続の設定をバックアップ	4
インターネット接続の設定を復元	4

か行

改造	98
拡張MS-DOS領域	81
カスタム再セットアップ	73,76,80
キーボード	32
基本MS-DOS領域	81
コントロールパネル	10
コンピュータウイルス	46

さ行

再起動	7
再セットアップ	53
サポートセンタ	2
システムファイルチェッカー	13
周辺機器	38
使用許諾契約書	62
省電力機能	40

譲渡	97
消耗品	96
消耗部品	96
スーパーバイザパスワード	44
スキャンディスク	8,18
スタンバイ状態	40

た行

ディスプレイの電源ランプ	21
デバイスマネージャ	10
電源	20,21
添付品	47,96
ドライバ	38
トラブルチェックシート	101

は行

ハードディスクの領域	81
廃棄	98
パスワード	44
パソコン本体の電源ランプ	22,23
バックアップ	3,4,58
バックアップ-NX	3,58
標準再セットアップ	57
復元	3,4
ベーシックモード	10,11
補修用性能部品	96

ま行

マウス	32
-----------	----

や行

ユーザパスワード	44
----------------	----

ら行

領域作成	87
論理MS-DOSドライブ	81

●お問い合わせの前に

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な状態をお知らせいただく必要があります。このトラブルチェックシートに記入してから、お問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えが可能になります。ぜひ、ご記入ください。なお、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にポイントし、「システム情報」をクリックすると、詳細情報が表示されますので参考になしてください。

トラブルチェックシート 1

あなたのパソコンの構成	
■ハードウェア	
●本体	
型名（型名は本体背面または側面に表示されています）	
製造番号（保証書番号）	
メモリの容量	_____ MB(メガバイト)
メモリの容量を調べるには→マイコンピュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「○○MBのRAM」という表示の「○○」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量（Cドライブ）	_____ MB(メガバイト)（MBかGBのどちらかに） _____ GB(ギガバイト)（○をつけてください。）
ハードディスクの空き領域（Cドライブ）	_____ MB(メガバイト)（MBかGBのどちらかに） _____ GB(ギガバイト)（○をつけてください。）
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。	
●周辺機器	
品名・型名（メーカー名）	
ディスプレイ	☐ ディスプレイセットモデル 型 名： （型名はディスプレイの背面または底面に記載されています）
プリンタ	
SCSIボード	
増設ハードディスク	
ネットワークボード	
その他の周辺機器	
■ソフトウェア	
●OSのバージョンと発売メーカー	
☐ Windows 98	☐ Windows 2000
●トラブルが起きたときに起動していたアプリケーションソフト	

トラブルチェックシート 2

具体的なトラブルの内容

- どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

(例：ワードパッドで入力したり、印刷すると突然止まってしまう。)

- 画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

(例：「このプログラムは不正な処理を行ったので強制終了されます。終了しない場合は、プログラムの製造元に連絡してください。」とひんぱんに表示する。)

- そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するたびに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動するたびに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

(例：複数のソフトウェアを同時に使っていると、止まってしまう。)

- その他に気づいたことがあれば書いてください。

(例：エラーメッセージが出ている状態で電源スイッチを押して、何回か電源を切った。)

トラブル 予 防 4 つ の ポ イ ン ト

Cドライブの空き容量を十分に確保する

Windows 98を快適に使うには、Cドライブに十分な空き容量が必要です。空き容量が不足してくると、ファイルの読み書きやアプリケーションの起動に時間がかかるようになり、最後にはWindows 98そのものが動作しなくなります。Cドライブの空き容量は、常に100Mバイト以上確保してください。Cドライブの空き容量が不足してきたら、ディスククリーンアップを行って不要なファイルを削除するか、Dドライブを利用するか、ハードディスクドライブを増設してください。

 参考 不要なファイルを削除 →  サポートセンタ「困ったときのQ&A」『トラブル解決Q&A』「ハードディスク」ハードディスクドライブの増設 → 『もっと知りたいパソコン』PART8の「ハードディスクを増設する」

Cドライブの空き容量の確認

- 1 デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「Windows 98 (C:)」アイコンにマウスポインタを合わせてクリックします。
画面の左側に使用領域と空き領域が表示されます。

定期的にハードディスクを点検する

ハードディスクを使い続けるとハードディスクにトラブルが発生することがあります。1週間に1回くらいはスキャンディスクを実行することをおすすめします。

 参考 スキャンディスクについて → 「スキャンディスクを使う」(p.8)
システムツールの操作 →  サポートセンタ「困ったときのQ&A」『トラブルの予防』「予防のためのツール」
システムツールについて → Windows ヘルプ

日ごろから大切なデータをバックアップする

トラブルを解決するのに、再セットアップが必要なことがあります。再セットアップを行うと、大切なデータはすべてハードディスクから消去されてしまいます。大切なデータは、日ごろからこまめにMOや外付けハードディスクにバックアップしてください。このパソコンには、アプリケーションごとに作成したデータをバックアップできる「バックアップ-NX」があります。

 参考 MOや外付けハードディスクにバックアップする → この本のPART1の「データのバックアップと復元」(p.3)
バックアップ-NXについて →  サポートセンタ「困ったときのQ&A」『トラブルの予防』「予防のためのツール」
バックアップ-NXおよびこの本のPART1の「データのバックアップと復元」(p.3)
インターネットの設定などをバックアップする →  サポートセンタ「困ったときのQ&A」『トラブルの予防』「予防のためのツール」
インターネット接続のバックアップ

コンピュータウイルスの侵入を防ぐ

パソコンを使っていると、インターネット、パソコン通信上のやりとり、フロッピーディスクやCD-ROMの受け渡しなど、さまざまなかたちでコンピュータウイルスに感染する可能性があります。パソコンをコンピュータウイルスから守るには、次の点に注意してください。

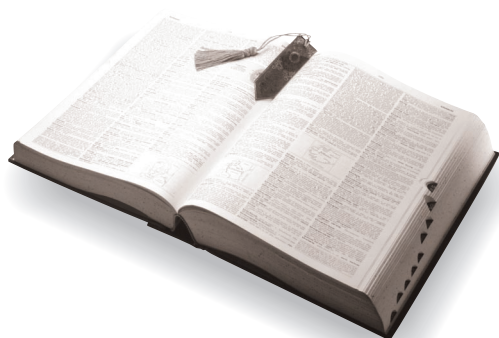
- ・パソコンのウイルス検査は定期的に行う
- ・出所不明なフロッピーディスクやCD-ROM、プログラムは使用しない
- ・入手したデータやプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・インターネットなどから、むやみにデータやプログラムをダウンロードしない
- ・覚えがない電子メールや添付ファイルは開かずに削除する
- ・ワクチンソフトは最新版になるように定期的に更新する

また、VirusScanによってコンピュータウイルスが検出されたら、「コンピュータウイルスが検出された」(p.46)をご覧ください。ウイルスの駆除を行ってください。

 参考 VirusScanについて →  サポートセンタ「困ったときのQ&A」『トラブルの予防』「予防のためのツール」
「VirusScan」

困ったときのQ&A

VALUESTAR



PC98-NX SERIES

VALUESTAR

初版 2000年5月

NEC

P

808-884672-006-A